

令和2年度  
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

目次

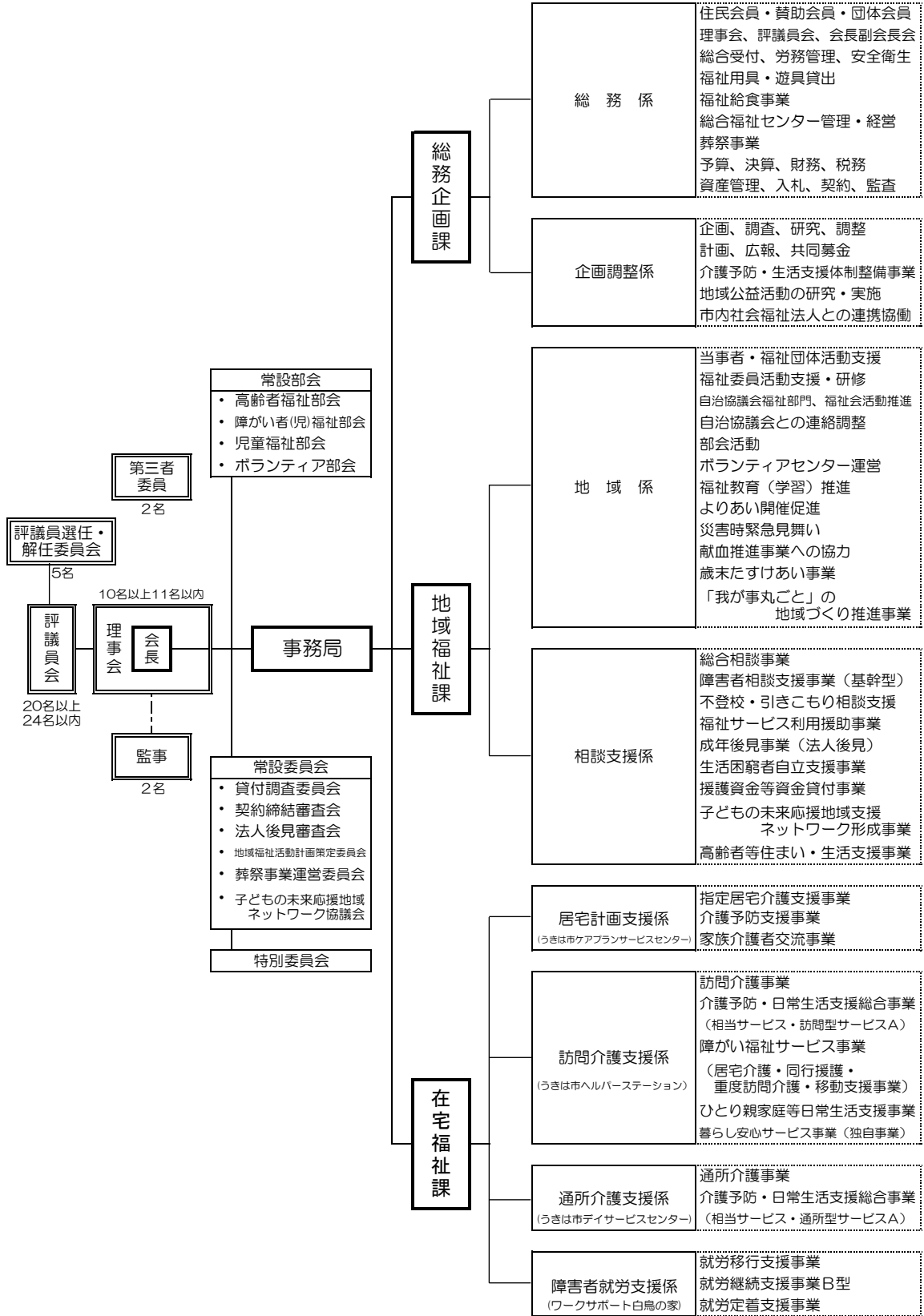
令和2年度 事業報告書

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、評議員選任・解任委員会委員名簿	2
評議員選出区分一覧、第三者委員名簿、常設委員会委員長名簿、部会長名簿	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、令和2年度事業報告概要	4
Ⅰ 総務企画部門	
《総務係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	8
3. 福祉給食	8
4. 管理・経営（指定管理）	9
5. 福祉用具の無料貸出	9
6. 公益事業（葬祭事業）	10
7. 令和2年7月豪雨災害支援	10
《企画調整係》	11
1. 調査・企画・広報事業	11
2. 介護予防・生活支援体制整備事業	12
3. 地域公益活動についての研究・実施	14
4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	15
5. 福岡県共同募金会うきは市支会の事務	17
6. 第3回うきは市社会福祉大会の開催（令和元年度延期事項）	17
Ⅱ 地域福祉活動部門	
《地域係》	18
1. 部会・研究事業	18
2. 連絡調整事業	19
3. ふれあいのまちづくり推進事業	19
4. 共同募金配分金事業	25
5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業	29
6. たすけあい献血推進事業	32
7. 移送サービス支援事業	32
《相談支援係》	33
1. 生活困窮者自立支援事業	33
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	34
3. 成年後見事業	36
4. うきは市障害者相談支援センター	36
5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	38
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	39
7. 高齢者等住まい・生活支援事業	40
8. 資金貸付事業	41
Ⅲ 在宅福祉サービス事業部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	43
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	43
3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）	45
4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	46
5. 制度補足サービス	49
6. 家族介護者交流事業	49
7. 連携・協働事業	50

IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	51
2. 講演、事例報告への職員派遣	51
V 令和2年度 寄付概要	
1. 香典返し寄付	52
2. 一般寄付	52
<input type="checkbox"/> 令和2年度事業報告付属明細書	53

# うきは市社会福祉協議会組織図

令和3年3月31日



## うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	地域福祉活動計画策定委員会	22名
	子どもの未来応援地域ネットワーク協議会	9名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名
部 会	高齢者福祉部会	12名
	障がい者（児）福祉部会	11名
	児童福祉部会	13名
	ボランティア部会	12名

### 役員名簿（令和3年3月31日現在）

（敬称略）

役 職	氏 名（選出区分）	
理事（会長）	高山 敏 枝	（識見を有する者）
〃（副会長）	石井 忠 孝	（識見を有する者）
〃（副会長）	河北 和 彦	（識見を有する者）
〃	岩崎 道 代	（識見を有する者）
〃	東 多喜子	（識見を有する者）
〃	熊谷 幸 一	（自治協議会）
〃	松木 高 雄	（自治協議会）
〃	永井 ケイ子	（民生委員児童委員協議会）
〃	足立 光 二	（保健・医療関係者）
〃	西見 峰 子	（社会福祉法人の役職員）
〃	平田 真 弓	（ボランティア連絡協議会）
監 事	三浦 隆 文	（財務管理に識見を有する者）
〃	高木 新一郎	（社会福祉事業に識見を有する者）

### 評議員選任・解任委員会 委員名簿（令和3年3月31日現在）（敬称略）

構 成	氏 名
外部委員	石井 又工子
外部委員	樋口 幸 代
外部委員	白石 正 男
監 事	三浦 隆 文
事務局員	田村 吉 彦

### 評議員選出区分一覧 (令和3年3月31日現在)

区 分	区分の内訳	定 数	現 数
住民組織	自治協議会	4名以内	4名
当事者の団体及び 組織	老人クラブ	1名	1名
	障がい者福祉協会	1名	1名
	精神障がい者家族会	1名	1名
	母子寡婦福祉会	1名	1名
	子育て・育児団体	1名	1名
	在宅介護者の会	1名	1名
社会福祉に関する活動 を行う団体及び組織	福祉委員	2名以内	2名
	ボランティア連絡協議会	1名	1名
	農業協同組合	1名	1名
	人権擁護委員会	1名	1名
民生委員・児童委員 またはその組織	民生委員児童委員協議会	1名	1名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設(社会福祉法人)	1名	1名
	介護サービス事業連絡会	1名	1名
保健・医療・教育等の 関係機関・団体	小中学校長会	1名	1名
	P T A連絡協議会	1名	1名
	保健・医療関係機関・団体	2名以内	2名
地域福祉推進に必要な地 域の主要な諸団体	商工会	1名	1名
	青年会議所	1名	1名
計		20名以上 24名以内	24名

### 第三者委員名簿 (令和3年3月31日現在) (敬称略)

選 出 区 分	氏 名
学識経験者	水 城 秀 記
学識経験者	熊 懐 勝 子

### 常設委員会委員長名簿 (令和3年3月31日現在) (敬称略)

委員会名	委員長名
地域福祉活動計画策定委員会	
子どもの未来応援地域ネットワーク協議会	安 元 ひろみ
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	國 武 雅 子
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	伊 藤 正 勝

### 部会長名簿 (令和3年3月31日現在) (敬称略)

部 会 名	部会長名
高齢者福祉部会	佐 藤 春 義
障がい者(児)福祉部会	重 富 浴 夫
児童福祉部会	木 下 英 樹
ボランティア部会	舎 川 博 道

## うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等で対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

### 基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

## 令和2年度 事業報告概要

令和2年度は、活動方針として前年度に引き続き、地域共生社会実現に向けた『福祉のまちづくり』を目指し、事業を展開することとしていましたが、新型コロナウイルス感染拡大による2度の緊急事態宣言発出などにより、多くの事業が制約を受けることになりました。

特に令和元年度実施を予定し、新型コロナウイルス感染拡大に伴い本年度に延期していた「第3回うきは市社会福祉大会」については、本来であれば、生活支援体制整備や地域包括ケアシステムの一層の推進の足掛かりとするものであり、これまで福祉増進に寄与された方々の功績をたたえる場となるもので、年度内実施を検討しましたが感染拡大防止の観点からやむなく中止とし、功労者への表彰状授与のみ行いました

また、社協として推進している地域包括ケアシステム構築に向けた『介護予防・生活支援体制整備事業』や地域共生社会づくりに向けた『「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業』についても、『協議の場』や『協議の場に向けた勉強会』をはじめ、各種研修会、よりあい活動など多くの活動が中止しなければならない事態となり、これまで進めてきた事業が停滞する状況となりました。

こうした中、新たな事業展開として、総務企画部門においては、共同募金配分金事業として、子どもを地域で見守り・育てる意識の醸成等を目的にした「新入学児童への黄色い傘配布事業」を企画しました。また、公益事業である葬祭事業においては、昨年度作成した縁ディングノートを活用した終活セミナーを実施しました。

地域福祉部門においては、福岡県社協からの委託事務である生活福祉資金において、新型コロナウイルス感染症特例貸付の受付を行い、3月末までに延べ128件、5,310万円に上る貸付事務を行いました。この特例貸付にあつては、単に貸付の受付事務だけでなく、相談者の苦境をお聞きし、場合によっては貸付でなく生活保護や就労支援への橋渡し、食料品の提供等の支援も行いました。

個別支援活動については、民生委員さんや福祉委員さん、地域住民の方などから支援情報の提供を受け、関係機関との連携を図りながら当事者の方の意向に沿った支援を心がけ、支援活動を実施していきました。

在宅福祉部門においては、うきは市デイサービスセンター設備の老朽化に伴い、空調機器入れ替えや照明器具のLED化などを介護保険事業基金を取り崩し実施しました。併せて安全対策の一環から、転倒の危険性を軽減するため浴室床材の防滑処理を行ないました。

# I 総務企画部門

## 《総務係・経理係》

### 1. 法人運営

#### (1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全6回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回数	期日	出席 理事/監事	議案
第149回	R2.5.29	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度事業報告及び資金収支決算の承認について</li> <li>理事候補者の選出について</li> <li>評議員候補者の推薦について</li> <li>評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>評議員会の開催について</li> <li>令和2年度資金運用計画について</li> <li>第3回うきは市社会福祉大会の開催について</li> <li>障害者就労支援多機能型及び就労定着支援事業所運営規程改正(案)について</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活困窮者世帯への支援について</li> </ul>
第150回	R2.6.23	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>定款の変更について</li> <li>人事案件について</li> </ul>
第151回	R2.6.23	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧問の選任について</li> <li>新型コロナウイルスによる生活困窮者支援に係る寄付金募集について</li> </ul>
第152回	R2.9.15	11/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度金婚祝福の会について</li> <li>買い物支援等にかかる包括的連携協定(4者協定)について</li> </ul>
書面協議	R2.11.26	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員給与及び退職手当に関する規程の改正について</li> </ul>
第153回	R2.12.15	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>歳末たすけあい事業について</li> </ul>
第154回	R3.3.23	10/2	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸規程の改正について</li> <li>令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について</li> <li>評議員会の開催について</li> <li>第三者委員の委嘱について</li> <li>役員等賠償責任保険契約締結について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

②評議員会【全2回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	議案
第54回	R2.6.23	21/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度(令和元年度)事業報告及び資金収支決算について</li> <li>定款の変更について</li> <li>理事の選任について</li> </ul>
第55回	R3.3.30	19/24	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

③監査【全5回】次の日程・内容にて監査を実施しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	監査事項
第1回	R2.5.20	2/2	平成31年度(令和元年度)決算監査
第2回	R2.7.22	2/2	令和2年度第1期監査(4月～6月)
第3回	R2.10.21	2/2	令和2年度第2期監査(7月～9月)
第4回	R3.1.22	2/2	令和2年度第3期監査(10月～12月)
第5回	R3.3.19	2/2	令和2年度第4期監査(1月～2月)

[会場：うきは市総合福祉センター]



④会長・副会長会【全5回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	主な議題
第1回	R2.5.25	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度事業報告及び資金収支決算について</li> <li>理事候補者及び評議員候補者の選任について</li> <li>評議員選任・解任委員会の開催について</li> <li>評議員会の開催について</li> <li>令和2年度資金運用計画について</li> <li>第3回うきは市社会福祉大会について</li> <li>諸規程の改正について</li> <li>新型コロナウイルス感染拡大に伴う生活困窮者への支援について</li> <li>理事会提案事項について</li> </ul>
第2回	R2.9.4	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>金婚祝福の会について</li> <li>令和2年度共同募金運動について</li> <li>買い物支援にかかる包括的連携協定（4者協定）について</li> <li>理事会提案事項について</li> </ul>
第3回	R2.12.11	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度共同募金運動について</li> <li>歳末たすけあい事業について</li> <li>職員出産祝い金等に関する要綱について</li> <li>共同募金会うきは市支会オリジナルキャラクターの名称について</li> <li>理事会提案事項について</li> </ul>
第4回	R3.2.26	3/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会設置について</li> <li>育英奨学金貸与事業について</li> <li>福祉サービス利用援助事業における貸金庫の利用について</li> </ul>
第5回	R3.3.12	2/3	<ul style="list-style-type: none"> <li>部会活動について</li> <li>福祉サービス利用援助事業規程改正（案）について</li> <li>令和3年度介護報酬改定に伴う規定の改正について</li> <li>指定重度訪問介護事業廃止に伴う障害福祉サービス事業所運営規程の改正について</li> <li>令和3年度事業計画（案）及び収支予算（案）について</li> <li>第三者委員の選任について</li> <li>理事会提案事項について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑤評議員選任・解任委員会【全1回】次の日程・内容にて評議員選任・解任委員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席／総数	内容
第5回	R2.6.8	5/5	<ul style="list-style-type: none"> <li>選出母体の役員変更に伴う新たな評議員の選任について</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑥新任役員、評議員の研修の実施

期日	参加人数	内容
R2.7.9	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容）</li> <li>各事業所の見学</li> </ul>

[会場：うきは市総合福祉センター]

(2) 法人の健全経営

①社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営

- ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正

②顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務

- ・消費税及び法人税納付関連事務

③顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理

- ・働き方改革に沿った労務管理改善の実施

④職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり

- ・安全衛生推進委員会の開催（2月）
- ・アドバイザー・保健師による職場巡回（2月）
- ・「こころと体の相談」の実施（毎月）※面談及び電話相談にて実施。
- ・健康診断要再検診者への受診指導

⑤監事による定期監査

- ・事業計画に基づく経営状況の確認
- ・職員時間外労働・有給休暇取得の確認

⑥第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

(3) 財政基盤の強化

①社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	125/148	84.5%	62,500円	110口	55,000円	117,500円
新川	95/123	77.2%	47,500円	47口	23,500円	71,000円
田籠	40/59	67.8%	20,000円	44口	22,000円	42,000円
小塩	165/211	78.2%	82,290円	45口	22,500円	104,790円
山春	695/884	78.6%	347,500円	505口	252,507円	600,007円
大石	624/933	66.9%	311,650円	479口	239,500円	551,150円
御幸	1,618/2,440	66.3%	808,695円	844口	422,000円	1,230,695円
千年	645/1,586	40.7%	316,100円	216口	108,000円	424,100円
吉井	1,085/1,671	64.9%	542,200円	161口	80,500円	622,700円
福富	861/1,392	61.9%	417,539円	151口	75,500円	493,039円
江南	703/1,081	65.0%	344,500円	81口	40,500円	385,000円
市外				29口	14,500円	14,500円
合計	6,656/10,528	63.2%	3,300,474円	2,712口	1,356,007円	4,656,481円

※住民会費は一世帯 500 円、賛助会費は 1 口 500 円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

イ. 団体会員（1団体 年会費 5,000円）

- 社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
- 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
- 社会福祉法人図南会（えびね荘）
- 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
- 社会福祉法人ふたば会（水月吉井、養護老人ホームうきは）
- 社会福祉法人素王福祉会（エバーガーデンうきは）
- 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園、若葉保育園）
- 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
- 絆データシステム株式会社
- 合計 9 団体 45,000 円

(4) 職員育成と職員体制の充実

①研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・新任職員研修（令和 2 年 4 月 8 日）  
参加者：5 名
- ・職員全体研修（令和 2 年 4 月）  
内 容：令和 2 年度年度事業計画について  
参加者：76 名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各部署のミーティングの際に実施。

- ・人権研修（令和2年10月）  
内 容：DVD 視聴「障害のある人と人権誰もが住みよい社会をつくるために」  
「今、地域社会と職場の人権は！」  
参加者：76名 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各部署ごとに実施。

#### ②人材確保を目的とする職員処遇改善

- ・特別休暇付与

#### ③職員の福祉資格取得促進

- ・資格取得及び更新研修費用の助成 3件

#### ④専門職員配置の充実

- ・令和2年度有資格者嘱託職員の採用 3名

## 2. 各部門の総合調整、活動支援

### (1) 管理職会議（月1回）

毎月1回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し、管理職会議において事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

## 3. 福祉給食

### (1) 「食」の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、1,271人（前年度比-95名）、延べ配食数は38,426食（前年度比-1,018食）となり、当初の配食計画数（44,000食）を、大幅に下回りました。配食数減少の要因として、市が対象者の見直しを行い、食の確保に加え、安否確認を必要とする一人暮らし高齢者等で、買い物に行くことができない方に制限し、事業を進めたことにあります。あわせて、民間の宅配サービスの利用増加も背景に見られました。

しかしながら、本事業利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理が出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が食材費を抑えつつ、地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

調理については、利用者の状態に応じて、お粥や刻み食に変更したり、服薬等により禁食がある方については、献立内容を一部変更するなどの対応を行いました。また、お弁当を届ける際も玄関口まで出てこれない方には居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方や犬猫を屋内で飼っている方には、衛生面に考慮し使い捨ての弁当箱（利用者負担）を使用するなど、利用者の状況に沿った対応を行いました。

安否確認については、配食時に不在等で安否が確認できなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族あるいはケアマネジャーなどの関係者へ連絡を取るなどして、確認の徹底を図っています。今年度においても、配食時に体調不良に気づき家族や関係機関に連絡し救急搬送したケースや、自宅裏で転倒されているところを配食時に発見し救急車の手配をしたケース等がありました。このように、安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を密に行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

「食」の自立支援事業では、食の面から利用者の健康を支えるとともに、配達時の声かけや安否確認、平素からの関係機関との連絡・相談等を行いながら、住み慣れた地域でいつまでも自立した生活を送れるよう支援を行いました。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8/14・15、12/30～1/3を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1食400円（但し、生活保護受給者1食300円）

□活動体制：調理 給食員3.5～4名

献立 栄養士（調理兼務）

配食 給食員とボランティア（39名登録、R3.3月末現在）

□配食コース：昼食4コース（内、ボランティア 月～土3名）

夕食7コース（内、ボランティア 月～土5名）

【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	105	109	109	106	109	107	107	110	108	100	99	102	1,271	
実施日数	26	26	26	27	24	25	27	25	25	24	24	27	306	
配食数	昼食	1,122	1,197	1,202	1,259	1,084	1,174	1,229	1,222	1,126	962	958	1,084	13,619
	夕食	2,160	2,169	2,139	2,138	1,950	2,084	2,244	2,117	2,098	1,803	1,853	2,052	24,807
	合計	3,282	3,366	3,341	3,397	3,034	3,258	3,473	3,339	3,224	2,765	2,811	3,136	38,426

【利用者区分 (R3.3月末現在)】

区分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合計
利用者数	80名	10名	7名	5名	102名

(2) あったか宅配サービス (ふれあいのまちづくり推進事業)

利用者や市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが中止となった方や、申込みをしたが該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう、配食を通して支援しました。

□利用者負担 / 1食 500円

【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	10	9	9	9	9	9	9	8	8	8	9	9	106
配食数	239	217	218	221	198	217	222	185	183	171	186	212	2,469

※実利用者数 11名

4. 管理・経営 (指定管理)

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

【うきは市総合福祉センター利用実績】

	開館日数	一般貸出室				その他の部屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	291日	336団体	3,148人	12団体	100人	3,435人	6,683人
月平均	24.3日	28.0団体	262.3人	1.0団体	8.3人	286.3人	556.9人
1日平均	—	1.2団体	10.8人	0.0団体	0.3人	11.8人	23.0人

※緊急事態宣言発令による貸室の利用中止・制限があり、総利用者数前年比△3,897名の実績となりました。

5. 福祉用具の無料貸出 (地域福祉部門との協働)

(1) 福祉用具無料貸出

①福祉用具無料貸出

在宅生活に支障のある方を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	71件	ベッド柵	1件
介護用ベッド	4件	シャワーチェア	4件
ポータブルトイレ	15件	押し車	4件
歩行器	1件	合 計	104件
松葉杖	4件		

②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具を安心してご利用いただけます。

【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	3回	6人
うきは市民センター	3回	7人
合 計	6回	13人

## 6. 公益事業（葬祭事業）

誰も訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず、荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や地域での会合等を通して、社協の葬祭事業について市民への周知を図りました。

### (1) 自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
自宅・寺院葬	2	1	1	0	2	0	2	1	1	1	3	2	16	
斎場葬	本館	3	6	5	3	6	2	12	7	7	6	6	9	72
	和室	1	2	1	3	1	1	4	2	2	3	0	1	21
	別館	7	8	4	2	6	4	4	7	10	7	9	4	72
	小計	11	16	10	8	13	7	20	16	19	16	15	14	165
直 葬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合 計	13	17	11	8	15	7	22	17	20	17	18	16	181	
(内市外者)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	
市内死亡者数	27	28	24	16	34	27	38	39	43	35	39	49	399	
市内利用率	44.4%	60.7%	41.7%	50.0%	44.1%	25.9%	55.3%	43.6%	46.5%	45.7%	46.2%	32.7%	44.4%	

#### ①斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・62件（利用率 37.6%）
- ・無料朝食提供の実施・・・97件（利用率 58.8%）

### (2) 葬祭事業運営委員会【全2回】

期 日	会 場	出席者	議 題
R2.7.6	うきは斎場本館おととき室	委員 9名	・斎場折込みチラシについて ・縁ディングノートの活用及び終活セミナーについて ・本館風除室壁改修について
R3.2.8	うきは斎場本館おととき室	委員 10名	・縁ディングノートの活用及び終活セミナーについて ・令和2年度葬祭事業への意見・提言

#### ・委員会の提言事項

- ①縁ディングノートの活用、終活セミナーの開催について充分検討し取り組んでいくことをお願いしたい。
- ②一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ③故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実に努め、利用者に優しい葬儀をお願いしたい。
- ④感染症予防対策を十分に講じ、安心して利用できる環境衛生に努めることをお願いしたい。

### (3) 葬祭事業の周知

- ①広報誌「ふくしのかわら版」へのチラシの折込み。2回（8月号、12月号）

## 7. 令和2年7月豪雨災害支援

令和2年7月に発生した令和2年7月豪雨については、うきは市内でも被害が発生しました。うきは市社会福祉協議会では、被災状況を各地区自治協議会や区長等へ確認し、現地調査を行った上、活動資器材の貸出や被災ごみの搬出等の支援活動を行いました。また、両筑地区社協災害時相互支援協定に基づき、大刀洗町へ職員を派遣しました。

### (1) 市内被災者宅への支援

- ①床上浸水被害住宅のごみ搬出 1件（職員4名 軽トラック2台）
- ②活動資器材の貸出 2件（バキューム1台 サーキュレーター6台 電気ドラム1台）

## (2) 両筑地区社協災害時相互支援協定に基づく支援

①大刀洗町（床上浸水被害住宅の片付け・ごみ搬出：職員2名 軽トラック2台）

## 《企画調整係》

### 1. 調査・企画・広報事業

行政や関係機関より福祉に関する統計情報（データ）を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や各部会活動・アンケート等を通して福祉課題を拾い上げました。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、啓発活動を行い、社協の見える化を推進しました。

#### (1) 「ふくしのかわら版」を活用したアンケートの実施

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかわら版（9月号、3月号）を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。（7通）

また、ホームページにもお問い合わせのページを設けました。（1通）

なお送付いただいた内容については、事務局での検討や対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援を行いました。

#### (2) 年次調査統計要覧の作成

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、うきは市基本データを集積しました。

また、「年次調査統計要覧」の作成に伴い、福祉にかかる調査の結果や、人口、人口動態、高齢率等のうきは市勢の状況等のデータを集積しました。

#### (3) 社協だより「ふくしのかわら版」の編集発行 年12回（共同募金配分事業）

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

#### (4) ホームページの管理・運営 毎月1日、15日に定例更新（共同募金配分事業）

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など最新の情報を掲載しました。

#### (5) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。（フォロワー数／フェイスブック 903、ツイッター 529）

#### (6) 防災無線（行政放送）の活用

社協の相談窓口等をお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

#### (7) 住民啓発資料（社協名入り花の種、入浴剤、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資料として、花の種、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

#### (8) 福祉座談会の実施

社協活動や地域福祉活動計画、保健福祉動向について、地域での会合等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。（実施回数3回）

期 日	地域及び団体名
R2.10.29	田籠地区
R2.11.4	吉井清流会
R2.11.18	吉井校区老人クラブ女性部

## 2. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）（地域福祉部門との協働）

### （1）「協議の場」づくりのための勉強会開催状況

うきは市では地域包括ケアシステムの構築に向けて、これまでのうきは市の支えあいの仕組みや活動を生かしながら、介護予防・生活支援・社会参加を一体的に捉え、「お互いさま」の気持ちを地域の中で具体的な仕組みにしていくという視点から、住民主体の「地域づくり」をさらに進めていこうとしています。そこで、地域住民と関係機関・団体（多様な主体）が、地域の課題を一緒に考え、介護予防・生活支援・社会参加の活動の充実に向け、多様な主体による多様なサービスが提供できるよう「協議の場（協議体）」設置に向け、平成28年度から旧小学校区単位での勉強会を順次開催しています。

今年度はまだ未実施の地域と協議を重ねましたが、新型コロナウイルスの影響等により勉強会の開催には至りませんでした。次年度以降も新型コロナウイルスの影響下での事業実施が予想されますが、各地域をはじめ、事業所管課、関係機関と協議を行い、実施に向けた方策を検討していきます。

### （2）第2層協議の場・地域支え合い推進員の活動支援

協議の場づくりのための勉強会が終わった地区より、各地区での協議の場として話し合いの場へと移行し、江南地区、御幸地区、妹川地区、福富地区、山春地区については、配置された第2層地域支え合い推進員によって、協議の場や活動が進められています。今年度については、新型コロナウイルスの影響等により、各地域での協議の場等の開催は中止となりましたが、各地域の第2層地域支え合い推進員との協議・打合せ等を行い活動支援を行いました。

### （3）第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組みの情報共有や課題提起等を目的とし、第1層協議の場を下記の通り開催しました。「PPK（びんびんころり）のために地域で何ができるのか？」をテーマに、介護予防・生活支援・社会参加について考えました。なお、新型コロナウイルスの感染拡大防止や緊急事態宣言等の状況を考慮し、うきは市と協議した結果、令和2年6月および令和3年2月に実施予定としていた協議の場については中止となりました。

#### 【第1層協議の場開催状況】

回数	期日	参加者	内容
第7回	R2.11.5	32名	「移動販売について」 うきは市内の移動販売の取り組み 説明者 サンピットバリュー 代表取締役 久次 辰巳 氏 セブンイレブンうきはバイパス店 オーナー 原口 智嗣 氏 移動スーパーとくし丸 岩下 徳子 氏 Aコープ九州 霧野 亜由美 氏 グループワーク ①それぞれの地域で「買い物を手伝ってほしい」という声と移動販売をつなぐためにどのような方法で状況把握が可能か ②移動販売とつなぐにあたり、企業の方に情報提供したり、互いに協力できそうなことはどのようなことか アドバイザー さわやか福祉財団 阿部かおり氏、竹下 順一氏

### （4）協議体設置に係る市・社協連絡調整会議

うきは市役所保健課介護・高齢者支援係と連携し、協議体設置等に係る「市・社協連絡調整会議」を下記の通り実施しました。また、生活支援体制整備事業と我が事・丸ごとの地域づくり推進事業の連携のため、関係者の情報共有の場を実施しました。

回数	期日	参加者	検討内容
第1回	R2.4.23	保健課1名 社協1名	保健課との打ち合わせ ①保険者機能強化交付金について
第2回	R2.4.27	保健課1名 社協1名	保健課との打ち合わせ ①保険者機能強化交付金について ②買い物支援について
第3回	R2.4.28	保健課1名 社協1名	保健課との打ち合わせ ①保険者機能強化交付金について ②買い物支援について

第4回	R2.5.11	さわやか福祉財団 2名 保健課 1名 社協 2名	市・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①第2層地域支え合い推進員研修会について ②買い物支援について ③現状での活動等について（ヒアリング）
第5回	R2.5.27	保健課 3名 社協 3名	保健課との打ち合わせ ①集いの場・よりあい等居場所活動の再開に向けて
第6回	R2.6.3	保健課 2名 社協 2名	保健課との打ち合わせ ①第1層協議の場について
第7回	R2.6.15	さわやか福祉財団 2名 保健課 4名 社協 2名	市・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①協議の場の方向性・整理について ②第2層地域支え合い推進員研修会について ③江南地区協議の場について
第8回	R2.7.13	うきはブランド推進課 1名 保健課 1名 社協 1名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①運輸会社との連携による地域課題解決の仕組みづくりについて
第9回	R2.7.20	—	保健課・さわやか福祉財団との打ち合わせ ※市内にて新型コロナウイルスの感染者が出たことを鑑み、開催中止となる。
第10回	R2.7.28	運輸会社 2名 うきはブランド推進課 1名 保健課 1名 社協 1名	運輸会社・うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①運輸会社との連携による地域課題解決の仕組みづくりについて
第11回	R2.8.6	市内スーパー 1名 保健課 1名 社協 1名	買い物支援にかかる市内スーパーとの打ち合わせ ①買い物支援について
第12回	R2.8.18	保健課 3名 社協 1名	保健課との打ち合わせ ①地域ケア個別会議について
第13回	R2.8.19	運輸会社 2名 市内スーパー 1名 うきはブランド推進課 1名 保健課 2名 社協 1名	運輸会社・市内スーパー・うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①買い物サポート事業（仮）について
第14回	R2.9.3	運輸会社 3名 市内スーパー 1名 うきはブランド推進課 1名 保健課 2名 社協 1名	運輸会社・市内スーパー・うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①買い物サポート事業（仮）について
第15回	R2.9.10	保健課 2名 社協 1名	保健課との打ち合わせ ①地域ケア推進会議について
第16回	R2.9.14	さわやか福祉財団 2名 保健課 1名 社協 1名	市・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①第2層地域支え合い推進員研修会について ②第1層協議の場について
第17回	R2.9.23	さわやか福祉財団 2名 保健課 2名 社協 2名	市・さわやか福祉財団との打ち合わせ ①第1層協議の場について
第18回	R2.10.1	うきはブランド推進課 1名 保健課 2名 社協 1名	うきはブランド推進課・保健課との打ち合わせ ①買い物支援について
第19回	R2.10.5	うきは市福祉事務所 2名 保健課 2名 社協 4名	うきは市福祉事務所・保健課との打ち合わせ ①重層的支援体制整備事業について
第20回	R2.10.7	市内スーパー 1名 うきはブランド推進課 1名 保健課 1名 社協 1名	移動販売についての打ち合わせ ①移動販売について
第21回	R2.10.13	保健課 1名 社協 1名	保健課との打ち合わせ ①地域ケア個別会議について



第 22 回	R2.10.13	運輸会社 2 名 うきはブランド推進課 1 名 保健課 2 名 社協 1 名	運輸会社・うきはブランド推進課・保健課打ち合わせ ①今後の事業推進について
第 23 回	R2.12.15	保健課 1 名 社協 1 名	保健課との打ち合わせ ①地域ケア個別会議について
第 24 回	R2.12.18	市内移動販売事業者 4 名 うきはブランド推進課 1 名 保健課 1 名 社協 1 名	うきは市と移動販売業者の包括連携協定にかかる打ち合わせ ①協定書の内容について・調印式の日程について
第 25 回	R3.2.9	さわやか福祉財団 2 名 保健課 6 名 社協 1 名	市・さわやか福祉財団との打ち合わせ（リモート） ①来年度の生活支援体制整備事業について
第 26 回	R3.3.8	保健課 1 名 社協 1 名	保健課との打ち合わせ ①地域ケア運営会議について
第 27 回	R3.3.19	市内移動販売事業者 4 名 うきはブランド推進課 1 名 保健課 3 名 社協 1 名	移動販売事業者・うきはブランド推進課・保健課打ち合わせ ①今後の取り組みについて

### (5) 地域資源の開発

平成 28 年度に、大石地区自治協議会主催で行われた地域福祉講座をきっかけに、生活支援のボランティアグループ立ち上げに向けた検討がなされ、平成 29 年 7 月に住民型有償サービス「おいしい絆クラブ」が立ち上がりました。この活動は会員制の互助組織として、大石地区にお住まいの高齢者や障がい者等（利用会員）の生活上の困りごとを地区内に住む住民（協力会員）がお手伝いするというものです。

また、行政区での生活支援については、平成 30 年度途中より、吉井地区 14 区にて、生活支援ボランティアグループの立上げの検討がなされ、区内の高齢者や障がい者等（利用会員）の生活上の困りごとを区内に住む住民（協力会員）がお手伝いする、住民型有償サービス「14区おたすけ隊」が立ち上がりました。これらの会の活動がスムーズに行えるよう、役員会等に参加し助言等を行う等、活動支援を行いました。

また、平成 30 年度途中より、江南地区協議の場「かたらんね～江南」で協議を行い、令和元年 6 月より本格実施となった移動支援「江南一九の会」については、多くの高齢者の移動を支えています。全国的にも先駆的なこの取り組みは、県内外から多くの視察を受け入れております。こちらの活動につきましても、運営委員会等に参加し、助言・活動支援等を行いました。

### (6) 研修会等の開催状況

地域包括ケアシステムに関する研修会等の開催状況は以下の通りです。

期 日	対象者	内 容
R2.7.16	千年地区自治協議会 役員 14 名	千年地区自治協議会役員研修会 ・地域包括ケアシステムと協議の場について

### (7) 地域ケア会議への参加について

市が主催する「地域ケア会議」に地域支え合い推進員が参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域で必要な資源の把握等を行いました。

## 3. 地域公益活動についての研究・実施（地域福祉部門・在宅福祉部門との協働）

地域福祉活動や在宅福祉事業など、様々な社協の取り組みの中から見えてくる新たなニーズや既存の制度では解決できない課題を解決するため、福岡県内の社会福祉法人が連携して、支援を必要とする方に対する相談支援活動である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加しました。

ふくおかライフレスキュー事業とは、関係機関との連携を図り、相談活動を進めていく中で、支援を必要とする方の心理的不安の軽減を図るとともに、必要な制度やサービスにつなぐものです。また、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等を現物により支援することもできます。

【ふくおかライフレスキュー事業支援実績】

対象者	相談経路	初期相談内容	支援内容	支援金額
10代女性と母の母子世帯	市保護係からの相談	関西方面に就職したいと考えているが、見学・受験費用が捻出できない状況	見学・受験先がある関西への渡航費、宿泊費、食料品・生活用品の提供	49,480円
60代女性の独居世帯	社協他事業からの相談	同居していた家族の家からグループホームに入所する際の初期費用が捻出できない状況	生活用品の提供、職場への通勤費用	37,583円
30代男性と妻・義母・子ども1人の世帯	市保護係からの相談	自己破産中であるが、転居が必要となり、初期費用が捻出できない状況	家電製品の購入・提供、乳児用品・食料品・生活用品の提供	84,179円

4. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

平成26年11月14日に、うきは市内の社会福祉法人が集まり、地域公益活動の研究・意見交換を行い、その結果、地域福祉の増進に寄与することを目的に、市内7法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足し、今年度は、うきは市内の全社会福祉法人9法人が協働で社会貢献活動に取り組みました。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井・養護老人ホームうきは）、浮羽コロニー（希望が丘）、両筑福祉会（浮羽学園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、幸輪会（うきは幸輪保育園・若葉保育園）、素王福祉会（エバーガーデンうきは）、ひじり会（ひじり園うきは）、うきは市社会福祉協議会

(1) 代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

期 日	会 場	内 容
—	書面協議	①令和元年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業報告 ②令和元年度うきは市社会福祉法人連絡協議会決算報告、監査報告 ③令和2年度の活動について ④各法人からのお知らせ
R2.9.17	うきは市総合福祉センター	①令和2年度の活動について ②各法人からのお知らせ
R3.3.25	うきは市総合福祉センター	①ふくおかライフレスキュー事業について ②令和2年度の活動経過について ③令和3年度事業計画について ④各法人からのお知らせ

【社会貢献プロジェクト委員会】

今年度は、各法人から選出された職員13名にて、全体の委員会での検討に加え、「景観美化活動小委員会」、「障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会」、「研修会小委員会」の3つの小委員会に分かれて検討しました。なお、新型コロナウイルス感染防止のため、会議については全て書面協議での実施となり、「障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会」、「研修会小委員会」については、活動の中止に伴い、小委員会の開催も中止となりました。

【社会貢献プロジェクト委員会小委員会】

①景観美化活動小委員会

期 日	会 場	内 容
R2.10.19	うきは市総合福祉センター	「クリーン大作戦 うきは!! (景観美化活動)」について

②障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会

今年度の活動中止に伴い、小委員会の開催も中止となりました。

③研修小委員会

今年度の活動中止に伴い、小委員会の開催も中止となりました。

## (2) うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

### うきは市社会福祉法人連絡協議会 研修会

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度の研修会は中止となりました。

## (3) 地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

例年、社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取り組みを行っていますが、令和2年度についてはプロジェクト委員会については参集しての会議を中止し、書面にて協議をすすめ、活動等について検討しました。

### ①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野を一覧表に取りまとめたものを見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取り組みを市民に周知し、活用推進を図りました。

### ②生活困窮者への物品等の提供について

物品や衣類・フードストックについて、社会福祉法人連絡協議会でも協力をして、社協の活動と一緒に参加するものです。社協より必要な物品についての情報を各法人に提供し、各法人は職員・保護者会等に周知を図り、集まった提供品を生活困窮者等の支援を必要とする方へ配布する活動を行うこととしています。

### ③景観美化活動について

誰でも参加でき、見えやすい社会貢献活動を実施するという観点から、「クリーン大作戦うきは!!」として、市内の JR の駅舎等の清掃等の景観美化活動を例年行っておりますが、活動に参加する各法人の職員およびボランティア等の新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は各法人にて準備したプランターを市内の JR 各駅舎（筑後吉井駅・うきは駅・筑後大石駅）へ寄贈しました。

期 日	場 所	内 容
R2.11.12	JR 筑後吉井駅 JR うきは駅 JR 筑後大石駅	市内 JR 各駅舎へのプランターの寄贈

### ④わくわく福祉出前講座（高齢者等の居場所作りの支援）について

保育、児童、障がい、高齢等の各分野で培った知識と人材を活用し、地域公益活動の取り組みとして、地域福祉の増進を目的に「わくわく福祉出前講座」を開催しており、例年よりあいやつどの場等で活用いただいておりますが、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、よりあいやつどの場の開催自体が中止となる地域が多く、依頼はありませんでした。

### ⑤障がい者の休日、放課後等の居場所づくりについて

施設利用者から、「平日は施設に行くのでいいが、休日は家でじっとしていることが多い。友達と遊ぶことも時にはあるが、休日に楽しく過ごせる場所が欲しい。」という声から、障がい者の居場所づくりプロジェクトとして、レクリエーション活動やバスハイク等を例年実施していますが、今年度については新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

### ⑥地域行事等への参加

地域行事に各社会福祉法人から積極的に参加し、各法人が地区自治協議会等とつながり、地域に何かあれば社会福祉法人が協力できることを地域に伝えていく取り組みを行うこととしておりましたが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加を中止しました。

### ⑦ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受け入れ出来ることをリスト化しました。社協からはケースに応じて各社会福祉法人に相談し、受け入れを実施していくこととし、平成28年度には、ふたば会（水月吉井）のご協力を得て、職場体験の受け入れをし、現在は就労に結び付けています。

⑧情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みを紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

5. 福岡県共同募金会うきは市支会の事務

(1) 福岡県共同募金会市町村支会モデル指定事業

福岡県共同募金会が実施する市町村支会モデル指定事業による指定を受け、赤い羽根共同募金のさらなる広報・啓発のための取り組みを行いました。

- ①福岡県共同募金会うきは市支会オリジナルキャラクター作成
- ②「子どもが乗っていますステッカー」の配布拡充（乳幼児健診の際に配布）

6. 第3回うきは市社会福祉大会の開催（令和元年度延期事項）

令和元年度に実施を予定し、新型コロナウイルス感染拡大に伴い本年度に延期していた「第3回うきは市社会福祉大会」については、新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、実施方法を検討しましたが、終息の兆しが見えないことや時期を追うごとに新規感染者が増加する状況を鑑み、感染拡大防止の観点から中止としました。

なお、当日実施予定であった功労者への表彰については、被表彰者宅等を個別訪問し、表彰状及び記念品を授与しました。

第3回うきは市社会福祉大会功労者 表彰（被表彰者 個人：24名 団体：14団体）

社会福祉事業特別功労者（表彰）6名	民生委員・児童委員特別功労者（表彰）3名
社会福祉事業特別協助者（個人）13名	社会福祉事業特別協助者（団体）1団体
社会福祉事業特別協助者（福社会）7福社会	社会福祉事業特別協助者（学校）3校
民生委員・児童委員功労者（感謝）2名	社会福祉事業協助者（団体）3団体

## II 地域福祉活動部門

### 《地域係》

#### 1. 部会・研究事業

##### (1) 部 会

地域福祉の増進を図ることを目的に、専門事項について常時研究活動を行うことを目的とする部会を実施しました。

##### ①各部会開催状況

部会名	期 日	出席者	協 議 事 項
高齢者福祉部会	R2.10.14	委員 9 名	・高齢者の移動支援に関するアンケートについて（内容検討）
	R2.11.27	委員 7 名	・うきはバスの運行状況について 説明者：うきは市役所 企画財政課 企画調整係 係長 手島直樹 氏 ・アンケート内容の確認、実施方法について
	R3.2.26	委員 7 名	・高齢者の移動支援に関するアンケート調査の結果報告 ・社協事業への提言について
障がい者（児）福祉部会	R2.11.10	委員 11 名	・前年度部会の振り返り ・コロナ禍における事業所の現状について
	R3.2.19	委員 9 名	・ワークサポート白鳥の家のコロナ禍による影響と現状について 講師／ワークサポート白鳥の家 管理者 相良 照美
	R3.3.18	委員 10 名	・今年度部会の振り返り ・社協事業への提言について
児童福祉部会	R3.2.12	委員 9 名	・スマホや SNS との関わり方（親子の在り方）について ・コロナ禍での子ども達の現状と今後の課題について ・社協事業への提言について
ボランティア部会	R3.3.2	委員 7 名	・14 区おたすけ隊の活動について 講師／竹内敏 氏、中尾嘉孝 氏（14 区おたすけ隊） ・社協事業への提言について

##### ②社協事業への提言

部会名	提 言
高齢者福祉部会	1. 高齢者福祉部会で行った、各自治協議会への移動支援に対する意向調査の内容を市へ報告して下さい。その中で、今後移動支援を考えている自治協議会に対し、スクールバスの活用や車両維持に対する市の補助事業など移動支援に関する説明の機会を設け（自治協議会 会長・事務局長会議等）、各自治協議会が取り組みやすい環境の整備を図るように、市へ要望して下さい。
障がい者（児）福祉部会	1. 障がい者への支援・制度・相談機関について、関係機関や団体と連携・協力しながら、地域住民への啓発・広報を進めてください。
児童福祉部会	1. コロナ禍により、子ども達が SNS やゲーム等に依存する傾向が強くなっている。子ども達は学校で SNS について学ぶ場が設けられているが、大人にはその場が無く、自主的に学ぶことが難しい人もいる。SNS 等が急速に進化していく中で、大人が時代についていけない場面も見受けられる。市の関係機関とも協力し、大人（保護者）向けの学ぶ場を設定するように働きかけを行って下さい。
ボランティア部会	1. ボランティア活動が今後も継続するよう、次世代がボランティアに取り組みやすい工夫をして下さい。 2. 区長、福祉委員等の任期が短く、区内の状況把握、課題解決に向けた取り組みを行う前に終了しています。住民のボランティア活動にもつながらない為、役職任期を長くするよう、働きかけを行って下さい。 3. 生活支援ボランティアが、草刈りや木の伐採に必要な軽トラックの確保に苦慮しています。軽トラックの貸出、レンタカー代の補助等、市へ要望して下さい。

## 2. 連絡調整事業

### (1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、生活支援体制整備事業他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立支援事業
行政（福祉事務所子育て支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他
行政（市民協働推進課、福祉事務所、保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	保健福祉関係事業全般に係る関係者の情報共有

### (2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
浮羽地域在宅医療連携拠点整備事業委員会	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の把握	保健課地域包括支援係

## 3. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

### (1) 総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

#### ①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週水曜日 9:00～15:00 相談場所：第1・3週／吉井事務所 第2・4週／浮羽事務所

※緊急事態宣言期間中につきましては、電話にて相談対応を行いました。

#### 【相談援助事項の分類】

開設日数	47	
相談者	35	
相談経路	来所	22
	電話	13
	相談件数	35

#### 【相談援助事項】

終了解決	17	
相談継続	2	
社協による援助実施	3	
弁護士相談紹介	5	
他機関・組織への紹介	8	
内訳	民生委員児童委員	2
	福祉事務所	1
	その他行政機関	4
	その他民間組織	1

相談事項		件数	分類	内数
暮らし 住まい	生計問題	2	公私借入問題	1
	職業・生業問題		労働問題	1
家族	住宅問題	12	その他	3
			親子関係	2
	家庭問題		家庭不和	2
	親族問題		1	
	その他		1	
	離婚問題		離婚相談	1
	慰謝料	1		
	その他	1		
法律	財産問題	2	土地売買	1
			贈与	1
その他	苦情問題	19	相隣関係の苦情	4
			その他の苦情一般	2
	その他		上記に属さない問題	13
合計				35件

②第三者苦情相談

相談開設：4回

相談場所：浮羽事務所 9/1、1/5 実施

：吉井事務所 11/10、3/2 実施

※ 5/11 実施分（浮羽会場）は、緊急事態宣言期間中であったため、開設を中止しました。

※ 7/7 実施分（吉井会場）は、大雨により開設を中止しました。

	浮羽	吉井	合計
相談開設	2	2	4
相談来訪者	0	0	0

③弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	78
相談件数	83

【相談結果】

指導助言	80	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	3	
内訳	相談担当者直受	0
	継続相談	2
	相談担当者以外	1

相談事項	件数	分類	内数	
一般民事 関係	不動産関係	13	所有権	3
		登記	1	
		賃借権	1	
		家屋明渡	1	
		境界	1	
		相隣	4	
		その他	2	
	債権関係	7	賃金	5
		その他	2	
	損害賠償	7	医療事故	1
			その他	6

相談事項	件数	分類	内数	
一般民事 関係	その他	7	倒産破産	2
		保証関係	1	
		労働関係	2	
		その他	2	
		家事 関係	47	離婚
	離婚以外の夫婦関係		2	
	相続		20	
	親子		5	
	その他		6	
	特殊事件	2	サラ金	1
消費者			1	
合計			83	

④司法書士相談（福岡県司法書士会筑後支部との共催）

相談開設：年12回（毎月第4木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

※ 4・6・8月吉井会場実施分及び5・7月浮羽会場実施分は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

相談開設日数	7
相談来訪者	20
相談件数	20

相談結果

指導助言	20
相談継続	0

相談事項	件数
不動産登記関連	8
相続関連	7
借金関連	0
裁判関連	1
成年後見関連	2
会社登記関連	0
その他	2
合計	20

⑤相談員研修

相談員の資質向上を図るため例年、研修会を実施しておりますが、今年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

(2) 地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

〔地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準〕

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 34.5%（R 2.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成しました。

【各地区自治協議会助成実績】

妹川	新川	田 籠	小 塩	山 春	大 石	御 幸
99,937 円	143,846 円	119,867 円	178,742 円	32,460 円	117,700 円	258,817 円

千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計
66,741 円	72,600 円	69,000 円	434,200 円	1,593,910 円

※上記金額には、過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、友愛訪問、福祉委員の研修など、それぞれの地区活動に活用されております。なお、地区福祉大会、先進地・施設視察研修等を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止等のため、中止となった地区もあります。

②地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換を行うため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回	期 日	検討・情報交換項目
第 1 回	R2.10.28	<ul style="list-style-type: none"> <li>各地区自治協議会（福祉部門）中間報告</li> <li>福祉小座談会の開催状況及び推進について</li> <li>福祉会の設置状況及び推進について</li> <li>年末年始の援助活動について</li> </ul>

※上記連絡会については、当初、令和 2 年 8 月 4 日（火）に予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催を延期し、開催しましたので、今年度は 1 回のみ開催となりました。

③地区地域福祉活動計画策定支援

平成 21 年度にふれあいセンター御幸、23 年度にふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部（現江南地区自治協議会福祉部）が策定を終了し、計画に沿って、地区の福祉活動が推進されています。

社協では、他の地区についても計画策定の推進をしておりますが、自治協議会が策定した地域計画との関係もあり、計画策定の検討が保留となりました。

④よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／ 43 回 開催区数／ 12 箇所

参加内訳：高齢者／ 417 名 世話人／ 141 名 その他／ 46 名 参加者計／ 604 名



地 区	開催区/行政区数	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川地区	1/5	112	48	5	165	7
新川地区	0/8	0	0	0	0	0
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩地区	3/13	20	2	1	23	3
山春地区	1/17	33	4	6	43	4
大石地区	0/18	0	0	0	0	0
御幸地区	0/28	0	0	0	0	0
千年地区	3/20	73	22	18	113	12
福富地区	2/15	75	34	7	116	9
吉井地区	0/23	0	0	0	0	0
江南地区	2/19	104	31	9	144	8
合 計	12/167	417	141	46	604	43

※小塩地区については、旧行政区にて集計しています。

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

※今年度のよりあい活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し、緊急事態宣言中の活動制限を行った為、大幅に減少しました。よりあいの開催にあたっては、コーディネーターへのレクリエーション遊具の消毒や密接回避の講習、福祉委員への「密集・密閉・密接」を避けた会場作りへのアドバイス、市保健課職員の協力による、参加者への衛生管理の講話を行い、感染防止に努めました。

#### ⑤地域生活支援活動の支援・助成

うきは市全域・地区・行政区を活動範囲とした、地区自治協議会・行政区・ボランティア団体等が行う生活支援活動に対して、役員会・定例会等への参加等の活動支援および、団体の立上げ・運営・活動に対する助成を行いました。

助成団体

- 1) 住民型有償サービス 14区おたすけ隊：20,000円（14区内における生活支援活動）

#### ⑥コロナ禍における新たな絆をつむぐ活動

- ・コロナ禍における地域福祉活動のガイドラインの発行

コロナ禍においても地域福祉活動を展開できるよう、感染予防の注意点などをまとめたガイドラインを作成し、発行しました。今後、ガイドラインは福祉委員等に配布を行います。

- ・感染予防に留意した訪問活動等の徹底

福祉委員へコロナ禍における訪問活動等の留意点をまとめたチラシ、相手と対面しない形でのやり取りとして活用できるポスティングカードの配布を行いました。

### (3) 住民参加による地域福祉事業

#### ①うきは絆プロジェクト活動

所管していたうきは警察署の事業廃止に伴い、共同で行っていた活動も令和2年度以降は中止となりました。

#### ②ボランティア活動の推進

##### ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月1回ボランティアコーディネーター会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

##### 【ボランティアセンター相談受付状況】

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5
②ボランティア依頼	16	16	27	15	23	21	23	22	17	17	16	24	237
③情報収集	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
④その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合 計	17	20	31	16	23	21	23	22	18	17	16	24	248

イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただいたケースもありました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。団塊の世代が退職を迎え、地域での新たな役割として、ボランティア活動への参加が促せるよう、ボランティアに関する広報のあり方や、地域のニーズに応えられるような講座の開催を検討していく必要があります。

【ボランティア活動依頼内訳】

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出・生活援助	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活援助	移送ボランティア	16	13	27	14	22	21	23	22	17	13	15	24	227
	小修理	0	3	0	1	1	0	0	0	0	4	1	0	10
友愛訪問	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イベント手伝い・出し物披露	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		16	16	27	15	23	21	23	22	17	17	16	24	237

ウ. ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 717 名】

エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に行われるよう、活動費の助成や活動支援を行いました(助成金額 440,000 円)。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、施設訪問や昼食会、弁当配布等の活動は自粛しましたが、ひとり暮らし高齢者宅への訪問活動や電話等、グループごとに工夫して活動しました。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表】

(令和3年3月31日現在)

	団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	93	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年末年始声かけ訪問等を行う
	声のグループうさぎ	6	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	4	高齢者世帯や障がい世帯を主として、家屋等の小修理、庭木の枝切り、廃品の搬送を実施
	ハンディ移送サービスうきは	13	高齢者・障がい者の病院等へ移送サービス（会員制）
	七施会	15	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ハッピーかい	20	福祉施設や市内のよりあいでの手のぬくもりと会話による癒しのお届け
	朗読ボランティアともしび会	7	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	点訳ボランティア点筆の会	7	視覚障がい者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	調理ボランティアかりん	19	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力、福祉施設夏祭り手伝い
	夕月の会	9	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	ガイドヘルプボランティア	1	障がい者の外出支援
	団体・グループ：11 会員数：194名		
把握団体	うきは市手話の会	14	聴覚障がい者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	湯の花よかよか会	25	高齢者を対象に健康づくり体操を実施
	うきうき会（健康づくりボランティア）	18	公民館等において高齢者を対象に体操等を実施
	うきは市食生活改善推進会	46	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	4	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	螢火うきは	13	災害ボランティア、ホテル再生活動、被災者支援、防災教育
	防災ネットワーク 人のわ（輪）	4	防災啓発としての講演、計画支援、訓練支援等、発災時及び発災後の支援
	圭柳会	10	福祉施設への訪問活動、敬老会などへの協力
	団体・グループ：10 会員数：160名		
個人	運転ボランティア	24	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	30	市内でのよりあい健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	15	ボランティアセンター個人登録者
個人：69名			
活動者合計 団体・グループ 21 (354名) 個人：69名			

オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、より良いボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、貸出を行い、推進に努めました。

カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。（よりあいコーディネーター登録者：個人 30名 団体 2団体）

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、よりあいの開催が減少したため、派遣回数も大幅に減少しました。

【ボランティア派遣実績】

(個人/人・団体/団体)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	0	0	0	0	0	2	3	3	4	2	0	2	16
団体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会場	参加者数	内容
R2.11.4	総合福祉センター	16名	運転ボランティア安全運転講習会（講話：うきは警察署）
R2.11.18	総合福祉センター	18名	ボランティア対象救命講習（講話・実技：浮羽消防署）

#### ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、例年、つどいや研修等に参加しておりますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修等の開催自体が中止となりました。

### (4) 災害緊急支援活動

#### ①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、新型コロナウイルスの影響下での災害ボランティアセンターの運営に関するマニュアル等の検討を行いました。

回数	期日	内容
第1回	R2.8.20	緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて 災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて
第2回	R2.9.16	緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて 災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて
第3回	R2.10.14	災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて 熱中症対策（案）について 聴き取りの際の留意事項（案）について
第4回	R2.11.18	緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて 新型コロナウイルスの流行が懸念される状況における災害ボランティアセンターの設置・運営等 についての基本的考え方（案）について
第5回	R3.3.8	新型コロナウイルスの流行が懸念される状況における災害ボランティアセンターの設置・運営等 についての基本的考え方（案）について

#### ②災害ボランティアセンター設置運営訓練の開催

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、災害ボランティアセンター設置・運営訓練を例年行っていますが、今年度につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、訓練実施を中止しました。

## 4. 共同募金配分金事業

### (1) 福祉教育に関する事業

#### ①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うため、例年、福祉教育指定校連絡会を開催しておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度については中止しました。

#### ②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校 10 校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止による授業の縮小・中止等の理由により年度末に返還がありました。

学校名	年度当初助成額	年度末返金額	助成実績額
山春小学校	35,000	0	35,000
大石小学校	70,000	0	70,000
御幸小学校	70,000	24,040	45,960
千年小学校	70,000	0	70,000
吉井小学校	70,000	0	70,000
福富小学校	70,000	11,231	58,769
江南小学校	70,000	0	70,000
浮羽中学校	60,000	19,322	40,678
吉井中学校	30,000	0	30,000
浮羽究真館高等学校	45,000	8,484	36,516
合 計	590,000	63,077	526,923

### ③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施、ゲストティチャー等の斡旋を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止等の影響もあり、学校からの依頼はありませんでした。

### ④福祉教育教材の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育教材「ともに生きる」を市内全小学校の4年生および担当教諭に1冊ずつ配布しました。

・294冊（29,400円）

## (2) 高齢者への支援

### ①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

### ②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会を行いました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、祝宴は中止し、お祝いの式典のみ実施しました。

・開催日／令和2年10月23日（金） 会場／るり色ふるさと館1階ホール  
 該当者／37組 出席者／30組（59名）

### ③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

なお、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止による研修会等の中止に伴い、助成金申請も減少しました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市老人クラブ連合会	39,000円	・高齢者相互支援活動保険加入 ・高齢者相互支援活動 ・視察研修

### ④高齢者安心カード作成（個人情報記載携帯カード）

高齢者安心カードの作成を希望する、概ね75歳以上の希望者の8名に、携帯用カードの作成と配布を行いました。

例年、うきは市老人クラブ連合会総会の際に高齢者安心カードについてお知らせし、取りまとめをお願いしていましたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により総会が中止となりました。「福祉のかわら版6月号」で募集を行いましたが、申込者は少なく、作成数も減少しました。

⑤年末年始援助活動事業

年末年始援助活動費を次の事業に助成金を交付しました。(事業総額：20,127円)

①正月用お餅配布事業 少林寺拳法浮羽道場によるお餅配布(60世帯)	18,000円
②干支飾り配布事業 吉井幼稚園による一人暮らし高齢者の方への干支飾りの配布(350名)	2,127円

※昨年度は年末年始援助活動費を歳末たすけあい配分事業として助成金を交付していましたが、今年度については共同募金配分金事業として助成金を交付しております。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

例年、子育て支援に関わる各団体・組織に活動費の助成を行っておりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動の中止に伴い、今年度の助成申請はありませんでした。

②子ども用遊具貸出

子ども会や各子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

③母子・父子福祉活動事業

令和3年度小学校に入学されるお子さん(ひとり親家庭)のうち、お祝いを希望される世帯のお子さんに対して、新入学お祝いとして学用品(水彩道具セット)をお送りしました。

(新入学児童数：29名)

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動の中止に伴い、今年度の助成申請はありませんでした。

⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかかわら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、市内の児童を対象に例年、福祉体験学習を実施していますが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧保護司会青少年弁論大会への支援・助成

例年、うきは市保護司会が開催しております「うきは市青少年弁論大会」への助成を行っていますが、本年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止による開催中止に伴い、助成申請はありませんでした。

⑨「車に子どもが乗っています」ステッカーの配布

うきは市に生まれる子ども達を、地域の皆で支え・育てるという意識の醸成および赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、本会にて作成したステッカー及び子育て等に関する相談窓口などを記載したチラシを、令和2年1月よりうきは市役所にご協力いただき、出生届提出時に市役所窓口にて配布しました。

・配布者数：170名(令和2年4月～令和3年3月出生者)

⑩市内小学校新入学児童への黄色い傘配布

うきは市で育つ子ども達を交通事故等から守り、安全で楽しい学校生活を送るために地域の皆で支え・育てるという意識の醸成および赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、共同募金会うきは市支会のキャラクター「こころちゃん」をプリントしたオリジナルの黄色い傘および子育て等に関する相談窓口などを記載したチラシを、うきは市教育委員会および各小学校にご協力いただき、配布しました。

・配布者数：244名（令和3年4月入学予定児童）

⑪年末年始援助活動事業

年末年始援助活動費を次の事業に助成金を交付しました。

①子育て支援事業 大石学童保育所（ラビットクラブ）「クリスマス会」	7,760円
--------------------------------------	--------

※昨年度は年末年始援助活動費を歳末たすけあい配分事業として助成金を交付していましたが、今年度については共同募金配分金事業として助成金を交付しております。

(4) 障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

なお、うきは市障がい者福祉協会・うきは市手話の会につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止による活動の中止に伴い、今年度助成金の申請はありませんでした。

団体名	助成金額	活動内容
うきは地区精神障害者家族会	75,500円	・会員交流活動

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障がい者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関するの情報提供を行いました。また、障がい者（児）福祉部会にて協議・作成を行った地域資源の情報誌「うきは市障がい者地域資源ガイド」を当事者及び支援者へ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配付しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。（年1回）

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、今年度は申請がありませんでした。

⑤要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにじ「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた訪問、配布を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせてお配りしました。（区分の重複あり。実人員45名、2機関）

区 分	対象者	延べ回数	備 考
低所得世帯	15名	182回	
障がい世帯	11名	265回	
生保世帯	14名	229回	保護開始前、停止後の支援も実施
その他	2事業	45回	困窮事業等
合計	42件	721回	

⑥要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいた物品を社協にて管理し、要支援・低所得により物品を購入する事が難しい方にお渡しし、利用していただいています。

物品寄贈数	3件	大型家電（洗濯機）…1件 家電（上記以外の家電）…2件
物品配布数	10件	

⑦火災等災害被災者へのお見舞い

火災の被害に遭われた市民の方に対し、見舞金を贈りました。

・件数：6世帯（総額：220,000円）

火災 件数：4世帯（総額：180,000円）

水害 件数：2世帯（総額：40,000円）

(6) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①歳末見舞金

歳末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。（見舞金事業総額：2,125,000円）

援護の必要な世帯	31世帯	985,000円	事故・病気・災害遺児	2名	30,000円
長期在宅療養・認知症の方	22名	330,000円	両親の扶養のない児童	2名	30,000円
在宅重度障がい者（児）	50名	750,000円			

②歳末見舞品

市内の要援護者世帯や生活困窮世帯を対象に、歳末見舞品として、お米や蕎麦、お餅を70世帯に配布しました。（見舞品事業総額：226,967円）

③年末年始援助活動

年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。（事業費総額：488,307円）

①一人暮らし高齢者等見守り訪問活動	487,383円
見守りの必要な世帯へのカレンダー配布(619世帯)	
②配分変更通知郵便代	924円

5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業（市受託事業）

少子高齢化、人口減少、地域社会の脆弱化など社会構造の変化の中、年齢や性別、障がいの有無を問わず、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来る地域共生社会の実現に向けた国のモデル事業である、我が事・丸ごとの地域づくり推進事業を平成29年7月より市から委託を受け、地域にお住まいの皆さんが主体的に地域の課題に気づき（我が事）、課題解決に向けて地域や専門職が一丸となり、課題解決に取り組む（丸ごと）体制の構築への支援を行いました。

また、平成30年4月より、生活や福祉全般に関する相談窓口「生活・福祉丸ごと相談」を社協事務所（吉井・浮羽）の2カ所に設置し、相談対応および関係機関との連絡調整、各種支援を行いました。

なお、本事業は国のモデル事業としては本年度で終了となり、来年度以降は「重層的支援体制整備事業への移行準備事業」として実施となります。次年度以降については引き続きうきは市より委託を受け、事業を実施する予定となっております。



### (1) 福祉小座談会の実施

行政区の役員（区長、分館長、福祉委員、民生委員等）の皆様と地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

今年度、新たに開催した行政区がありました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を自粛された行政区もあり、昨年度より開催区が減少しております。

地区	開催区/行政区	実施区名
新川	8 / 8	内ヶ原/鹿狩/栗木野/本村/分田/葛籠/探野/尾谷
田籠	1 / 1	田籠(馬場/日森園/美住/中村/注連原)
山春	6 / 17	吉広/下組/上組/東長瀬/原口/古賀
大石	14 / 18	東の四/東の五/西の一/西の二/西の三/西の四/西の五/祇園町/川端/下/丁温泉/古川村/糸丸/中鶴
御幸	16 / 28	松本/今川通/中町/西町/千足二丁目/千足三丁目/千足新町/旭町/朝田原小坂/上流川/下流川/東浮羽/御幸通/千足五丁目/浮羽
千年	7 / 20	福久/宮田/三角/上吉井/包末/東小江/能楽
福富	9 / 15	東屋部/西屋部/東延寿寺/西延寿寺/安富/東屋形/竹重/東福益/西福益
江南	9 / 19	金本/新治団地/中島/庄園/夏梅沖鶴/今竹/上菅/清宗/今泉
合計		70 行政区

### (2) 福祉社会設置推進及び研修会

令和2年12月3日(木)に福祉社会役員・各地区自治協議会(福祉部門)役員を対象に、研修会を開催しました。(参加者:35名)「認知症とコロナ禍でも地域でできること」をテーマに、「認知症になっても安心できるまちづくり～コロナ禍の今、できることって～」と題して、公益社団法人認知症の人と家族の会 福岡県支部副代表の阿部かおり氏をお迎えし、講演を行っていただきました。

参加者からは、認知症の方と家族の方への対応を考える良い機会であった。認知症の方のことを良く知っているのは地域の人、地域の人との関わりが重要という感想があり、参加された方々が地域でできることを学び、今後の地域福祉活動を考えるきっかけとなった研修となりました。

今後も、各地区自治協議会(福祉部門)等と連携して、福祉社会の設置推進と活動支援をおこなっていきます。

#### 【令和2年度福祉社会研修会】

期日:令和2年12月3日(木) 参加者:35名

内容:講演「認知症になっても安心できるまちづくり～コロナ禍の今、できることって～」

講師:公益社団法人 認知症の人と家族の会 福岡県支部 副代表 阿部 かおり 氏

### (3) 福祉社会活動支援・助成

うきは市内に30福祉社会(40行政区)がありますが、助成要望書の提出があった26福祉社会について、助成を行いました。

地区	福祉社会名	設立年度	地区	福祉社会名	設立年度
大石	古川村区福祉社会	平成12年度	大石	古川町福祉社会	平成17年度
山春	保木区福祉社会	平成12年度	山春	川籠石区福祉社会	平成18年度
山春	袋野区福祉社会	平成12年度	御幸	朝田原区福祉社会	平成20年度
山春	西長瀬区福祉社会	平成12年度	御幸	中町区福祉社会	平成20年度
山春	荒瀬・畑中区福祉社会	平成12年度	御幸	御幸通区福祉社会	平成20年度
御幸	川原町区福祉社会	平成13年度	御幸	浮羽区福祉社会	平成21年度
妹川	櫻ヶ平区福祉社会	平成13年度	大石	西高見(西の1・2・3・5)福祉社会	平成21年度
御幸	旭町区福祉社会	平成13年度	大石	西の4区福祉社会	平成22年度
山春	三春原区福祉社会	平成14年度	山春	吉広区福祉社会	平成24年度
大石	東の6区福祉社会	平成15年度	山春	上組区福祉社会	平成24年度
大石	中鶴区福祉社会	平成15年度	山春	下組区福祉社会	平成24年度
大石	糸丸区福祉社会	平成15年度	江南	庄園区福祉社会	平成26年度
山春	大野原区福祉社会	平成16年度	江南	今泉区福祉社会	平成27年度
大石	東の4・5区福祉社会	平成17年度	山春	原口区福祉社会	平成28年度
大石	東の1・2・3区福祉社会	平成17年度	江南	今竹区福祉社会	平成28年度

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成を行っておりますので、福祉会活動助成には含まれません。なお、大野原区福祉会、袋野区福祉会、三春原区福祉会、東の6区福祉会、庄園区福祉会については、助成要望書の提出がありませんでした。

#### (4)「生活・福祉まるごと相談」窓口の開設および相談支援

平成30年4月より「生活・福祉まるごと相談」の窓口を社会福祉協議会吉井・浮羽事務所に設置し、相談支援を行うほか、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向けた各種支援を行いました。相談内容としては、生活に関することが一番多く、「どこに相談していいかわからない」や「こんなことを相談していいのだろうか？」と誰にも相談できずに困りごとを抱えている方が多い傾向にあるようです。今後も生活上の様々な課題を受け止め、解決に向けた支援を行います。

相談件数（延べ件数）	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽
来所	7	3	6	1	2	3	5	3	2	4	2	4	3	2
電話	5	3	8	1	8	0	15	1	9	1	6	0	2	0
訪問	0	0	2	0	6	0	7	0	7	0	9	0	11	0
その他（関係機関との調整等）	3	1	6	0	11	0	13	0	15	0	8	0	6	1
合計	15	7	22	2	27	3	40	4	33	5	25	4	22	3
うち新規件数	12		11		11		15		7		5		6	
相談件数（延べ件数）	11月		12月		1月		2月		3月		合計		総合計	
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽		
来所	3	0	0	1	6	5	0	2	1	2	37	30	67	
電話	2	0	1	0	3	2	6	2	0	3	65	13	78	
訪問	7	0	7	0	2	0	2	1	0	0	60	1	61	
その他（関係機関との調整等）	11	0	1	0	0	0	8	0	0	0	82	2	84	
合計	23	0	9	1	11	7	16	5	1	5	244	46	290	
うち新規件数	3		2		8		7		5		92			

相談者（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	13	10	11	17	16	19	15	15	7	16	12	1	152
家族	2	5	7	5	10	10	11	9	1	0	2	4	66
地域の関係者	5	5	8	10	7	4	2	3	2	0	0	0	46
専門機関	3	7	6	12	11	6	10	8	0	3	8	0	74
その他	0	0	0	3	1	0	0	0	0	0	0	1	5
合計	23	27	32	47	45	39	38	35	10	19	22	6	343

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ1人としてカウントしている。

相談内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	8	14	24	29	24	17	20	9	2	2	1	5	155
障がい者に関すること	2	0	1	1	0	2	0	2	1	3	5	0	17
子どもに関すること	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8
生活困窮に関すること	7	3	1	8	7	4	4	7	7	11	12	1	72
住まいに関すること	1	0	1	1	1	2	2	0	0	2	7	0	17
生活に関すること	22	24	29	44	38	29	25	23	10	18	21	5	288
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	40	41	56	83	70	54	51	41	20	36	54	11	557

※1件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談対応	17	17	19	32	22	22	18	12	8	18	14	6	205
関係機関との調整	8	10	16	15	16	11	10	9	3	5	10	5	118
援護物品の提供	4	2	0	1	0	0	0	0	4	3	0	0	14
居宅の清掃	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
情報提供	4	4	1	3	3	3	1	1	2	2	2	0	26
その他	0	0	0	0	1	0	0	4	0	2	0	0	7
合計	33	33	36	51	42	36	29	26	17	30	26	11	370

※1件の相談で支援内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

#### （5）民生委員・福祉委員懇談会への助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して助成を行いました。

助成実施行政区：27行政区（吉井：10行政区 浮羽：17行政区）

参加者：66名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

### 6. たすけあい献血推進事業

うきは市が実施する年頭献血への職員派遣及び本会広報誌にて広報啓発活動を行うなど、献血事業への協力を行いました。

①年頭たすけあい献血への協力

期間：令和3年1月3日～1月4日（市内7箇所） 延職員数：10名

### 7. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。（利用無料、活動協力費を社協助成／助成額 237,500円）

【ハンディ移送サービス利用状況】 協力会員 13名、登録会員 28名

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数		12	5	15	13	12	14	14	13	14	11	11	14	148	
内訳	歩行が困難な高齢者	独居高齢者	10	4	13	12	10	13	11	12	12	10	9	11	127
		高齢者世帯	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	2	19
		その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
	障がい者	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病・虚弱		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数		19	7	24	18	16	20	20	18	20	16	14	19	211	
内容	通院送迎	19	7	24	18	16	20	20	18	20	16	14	19	211	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利用時間（時間）		41.5	12.5	52.5	41.5	29	40	51	42.5	47	38	32.5	47	475	
走行距離（km）		405	73	562	358	264	349	335	351	318	269	236	376	3,896	

## 《相談支援係》

### 1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

平成27年4月に「生活困窮者自立支援法」が施行され、全国的に事業が実施されてきました。

本会でも、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援者が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行いました。

この事業は、これまでの高齢者や障がい者といったカテゴリーごとの福祉制度と違い、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、様々な方への支援や、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間に置かれてきた方々への支援を行う事業となっています。本会でも市の委託を受けて、自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業を実施しました。

#### (1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談所開設日数	21	20	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	245
相談対応者数	42	46	29	26	34	21	19	28	36	20	25	29	355
うち保護受給者数	1	4	0	3	1	2	2	4	3	1	2	3	26
相談対応総数（訪問含）	80	80	67	45	43	32	30	50	54	34	47	44	606
新規相談者数	27	20	8	12	7	7	2	2	3	5	4	9	106

	内 容
相談内容上位1位	生活困窮相談
相談内容上位2位	心身関係相談
相談内容上位3位	就労準備関係相談

#### ①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた訓練や学習支援などを受けています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別支援計画策定件数	16	10	6	3	8	5	1	2	1	2	5	5	64
うち保護受給者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現実実施計画累計数	41	51	57	60	68	72	71	71	70	71	73	78	783

※個別支援計画策定件数には、新規および更新の件数含む。

#### (2) 就労準備支援事業【内職シェアステーション Coccoconne（こここんね）開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Coccoconne を設置し、2種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご好意により、袋詰めしたラーメン・そばを「自立ラーメンまえむき」「自立そばあとおし」としてパッケージ化し、販売させていただきました。この販売収益が作業者の安定した収入と就労へのモチベーションへと繋がっています。

〔通所者工賃〕 R2.4月～R3.3月 一人平均 52,165円/年

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21	18	22	21	20	20	22	19	20	19	18	23	243
通所者数	13	12	12	11	13	8	9	9	10	10	10	11	128
延べ人数	132	125	152	119	119	100	122	105	100	109	107	142	1,432
うち保護受給者数	3	3	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	35
うち保護受給者延べ人数	26	27	41	36	28	26	34	33	28	37	25	31	372
平均利用	6.3	6.9	6.9	5.7	6.0	5.0	5.5	5.5	5.0	5.7	5.9	6.2	
受注事業所件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

### (3) 家計改善支援事業

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、生活再生を支援しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家計に係る相談件数	2	1	4	1	1	1	4	4	6	7	8	9	48
うち事業対象者数	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	2	2	15
うち生活保護に繋いだ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (4) 子どもの学習・生活支援事業

生活保護世帯・生活困窮している世帯の中学生を対象とした学習支援を市内2ヶ所で展開し、居場所の確保、学習の場の提供、進学・進路のアドバイス、年齢の近い社会人・大学生ボランティアの協力を得た将来的なモデル提示等を積極的に展開し、子どもたち目線の自立に向けた支援を実施しました。また卒業した中学生の高校中退防止のため、卒業生の相談受け入れも実施しました。

当事業においては近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの支援に努めました。

#### 【対応人数】

	吉井会場	浮羽会場	合計
実人数	12名	10名	22名

※3年生11名、2年生10名、1年生1名

#### 【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	0	0	4	3	4	4	5	4	4	3	2	3	36
浮羽会場の開設日数	0	0	5	3	4	4	4	3	4	3	3	3	36
訪問支援日数	14	11	0	0	0	0	0	0	0	4	17	11	57
合計	14	11	9	6	8	8	9	7	8	10	22	17	129
(吉井)利用者数	11	12	12	12	10	10	11	10	10	13	5	9	125
(浮羽)利用者数	9	9	8	8	8	8	8	8	8	7	7	9	97
(高校生)利用者数	1	0	1	1	1	0	0	2	0	0	0	0	6
合計	21	21	21	21	19	18	19	20	18	20	12	18	228

#### 【進路実績】

進 学 先	
福岡県立高等学校	10名合格・進学
私立高等学校	1名合格・進学
3年生11名全員が進学先決定	

## 2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

うきは市より委託を受け、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。令和2年度においては、民生委員や地域住民の方の相談から本サービスの利用につながったケースも多く、様々な相談経路を通じて生活課題のあるケースの早期発見につながっています。

中には、金銭管理だけにとどまらず、生活全般の支援が必要な方も多く、関係機関と連携しながらよりきめの細かい対応が必要となっています。

【契約締結審査会】

回数	期日	会場	審査対象者数	出席者
第1回	R2.10.20	うきは市総合福祉センター	3名	委員6名
第2回	R3.3.8	うきは市総合福祉センター	1名	委員6名

【相談経路】[利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員47名]

本人	2	親族	5	民生委員・児童委員	3
区長・地域住民	1	医療機関	6	特別支援学校	1
入所施設	2	介護支援専門員	5	障害者相談支援事業所	8
旧浮羽町役場福祉係	1	うきは市福祉事務所保護係	9	うきは市保健課	1
うきは市税務課	2	保健福祉環境事務所	1	合計	47

【契約者数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	9	9	9	9	9	11	11	11	11	11	12	12	124
	身体障がい者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
	知的障がい者	22	22	22	22	22	21	22	22	22	22	22	22	263
	精神障がい者	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	46
	その他	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		43	43	43	43	43	44	45	45	45	45	45	45	529

【訪問・活動回数】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	45	61	60	66	52	42	68	69	72	65	64	86	750
	身体障がい者	9	12	18	11	10	8	7	9	10	10	14	13	131
	知的障がい者	120	122	156	143	129	119	161	150	114	108	108	142	1,572
	精神障がい者	37	33	30	41	41	50	44	27	30	27	32	36	428
	その他	48	42	39	34	31	33	29	29	29	35	38	46	433
試行利用契約		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		259	270	303	295	263	252	309	284	255	245	256	323	3,314

【その他】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談	1	1	3	4	1	3	4	0	0	2	4	3	26
新規契約者	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	4
契約終了者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3

認知症高齢者や障がい者の方が入所している施設やその親族などから、成年後見制度に関する問い合わせや家庭裁判所への申立て手続きに関する相談など、本サービス利用に結びつかない場合でも必要に応じて随時相談を受け、関係機関との連絡調整や手続きに関する支援を行いました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等
書類等預かりサービス	日常的な金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり

#### 【生活支援員の活動について】

地域住民の方の中から生活支援員を養成し、日常生活に必要な生活費等の受渡しのみならず、生活状況の確認や心配ごとの相談受けるなど、利用者に合わせた支援を行っています。令和2年度においては、7名の生活支援員登録者のうち、5名の方にご協力いただきました。

なお、緊急事態宣言の発令や新型コロナウイルスの感染状況等を踏まえ、生活支援員の活動を一時休止し、休止期間につきましては担当職員が訪問対応を行いました。

#### <福祉サービス利用援助事業>※生活支援員4名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	1	0	0	0	0	0	3	6	3	1	0	0	14

#### <成年後見事業>※生活支援員1名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	1	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	6

### 3. 成年後見事業

成年後見事業では、本会が家庭裁判所より成年後見人を受任し、認知症高齢者や知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行うことでその方の権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援を行います。

今年度は受任している1名がご高齢により障がい者施設から介護施設への転居を検討することとなり、包括支援センターや関係者と協議を重ね、介護保険の申請や介護施設への入所手続きなどの支援を行いました。

また、福祉サービス利用援助事業の契約時より、認知症等の症状が進行し、事業対象の枠を超えるようなケースについては、成年後見制度へ移行するなど適切な支援が継続できるよう努めていきます。

#### (1) 法人後見審査会の開催

今年度は申立て案件なく、法人後見審査会の開催はありませんでした。

※法人後見審査会の構成員・・・行政、医師、司法書士、民生委員等

#### (2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

#### (3) 市民後見推進事業（市受託事業）

##### ①成年後見制度普及・啓発講座

成年後見制度や市民後見人の必要性について市民に広く啓発し、市民後見人を確保できるように、成年後見制度、市民後見普及・啓発講座を例年開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、うきは市と協議の上、開催を中止しました。

##### ②市民後見人養成講座・フォローアップ研修

今年度、地域住民を対象に、市民後見人として活動するにあたり必要な知識や関係法令等を学ぶ、市民後見人養成講座や、市民後見人養成講座【基礎編】・【実務編】を過去に受講した方を対象に市民後見人フォローアップ研修の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、うきは市と協議の上、中止しました。

### 4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者（児）のさまざまな相談に応じています。今年度は、コロナ過の中、不安になり電話の回数が増えた障がい者の方もいらっしゃいました。今後も他の部門との連携を行いながら、様々な生活上の相談に対して利用者の方により添いながら支援を行っていきます。

## (1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会へ参加しました。

### 【相談件数・相談内容】

		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合計
相談方法	電話	194	540	592	3,328	319	4,973
	来所	38	172	134	893	56	1,293
	訪問	80	437	151	396	54	1,118
	メール	0	0	0	13	86	99
合計		312	1,149	877	4,630	515	7,483
相談内容内訳	①福祉サービスの利用	146	322	307	2,002	281	3,058
	②障がいや病状の理解	35	224	114	811	75	1,259
	③健康・医療	13	145	79	335	41	613
	④不安の解消・情緒安定	14	98	164	117	14	407
	⑤保育・教育	0	9	5	67	11	92
	⑥家族関係・人間関係	17	36	41	170	22	286
	⑦家計・経済	25	80	51	346	10	512
	⑧生活技術	14	88	36	216	25	379
	⑨就労	19	47	37	172	8	283
	⑩社会参加・余暇活動	0	17	13	79	1	110
	⑪権利擁護	0	2	0	17	2	21
	⑫その他	29	81	30	298	25	463
合計		312	1,149	877	4,630	515	7,483

### 【会議等】

障害支援区分認定調査件数	82件
障害支援区分認定審査会参加	7回
地域障害者協議会参加	書面開催 1回
地域障害者協議会 事務局会議参加	8回
地域障害者協議会 児童部会参加	2回 書面開催 1回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	3回 書面開催 1回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	2回 書面開催 1回
地域障害者協議会地域生活支援拠点会議参加	0回

## (2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用いただいています。

なお、今年度は新型コロナウイルスによる外出自粛などの呼びかけにより、ほっとスペースうきはの利用者、見学者の数は減少しました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ほっとスペースでの行事につきましても開催を中止しました。

### 【ほっとスペースうきは利用実績】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数		11	16	14	13	14	10	10	10	11	11	11	14	145
内訳	身体障がい者	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	4	31
	知的障がい者	3	3	2	2	3	3	3	2	3	2	2	2	30
	精神障がい者	3	7	6	5	5	3	2	3	3	3	3	4	47
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	3	3	3	3	2	3	3	3	4	4	4	37
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者延人数	134	127	165	121	120	100	123	111	101	117	118	150	1,487	
内 訳	身体障がい者	46	44	59	47	38	34	39	35	35	30	32	49	488
	知的障がい者	33	30	35	29	37	33	36	24	22	23	25	35	362
	精神障がい者	29	25	30	9	17	7	18	21	18	20	24	28	246
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	26	28	41	36	28	26	30	31	26	44	37	38	391
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規登録者	13	3	1	0	3	2	0	0	0	1	0	1	24	
内 訳	身体障がい者	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
	知的障がい者	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4
	精神障がい者	4	2	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	10
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	2	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	5
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数	0	0	0	6	0	0	0	3	0	0	3	0	12	
内 訳	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	0	0	6	0	0	0	3	0	0	3	0	12

### (3) 点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。（利用者：4名）

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：7名）

### (4) 指定相談支援事業

障がい者（児）等からの相談に応じ、サービス事業者、施設、病院など関係機関と連絡調整等を行い、地域で安定した生活ができるよう支援計画等を作成しました。

障がい者の計画作成、モニタリング件数については増加しています。今後も障がい者が継続してサービスを利用していく中での満足度や、新たな生活ニーズを分析・点検していきます。

#### ①指定特定相談支援事業（市指定）：サービス等利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	3	3	4	10	3	3	3	7	1	1	1	4	43
モニタリング件数	3	6	6	3	6	5	2	4	18	6	4	4	67

#### ②障害児相談支援事業（市指定）：障がい児通所サービス利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	0	3	1	6	0	0	0	0	0	0	0	2	12
モニタリング件数	0	0	0	0	2	0	3	1	6	0	0	0	12

#### ③指定一般相談支援事業（県指定／平成25年10月1日）：地域移行支援、地域定着支援の実施 ・計画策定なし

## 5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業（市受託事業）

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置し、午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談、家族会の開催、当事者の会（Switch:スイッチ）の活動支援等を積極的に展開しました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を集合型とリモート型で開催し、延べ8回開催し、47名の参加がありました。

【支援実人数と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	24	32	56
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所） / 回	465	499	964
訪問支援（自宅訪問） / 回	62	64	126
合計	527	563	1,090

【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進学決定	2	就労開始・継続	11
登校開始・継続	8	就労準備支援利用	1
就労開始・継続	2	進学支援	1
転校支援	2	他機関へと移管	2
不登校気味	2	ひきこもり気味	9
完全不登校	6	完全ひきこもり	8
ひきこもりに移行	2		
合計	24	合計	32

【フリースペース利用状況・回数】

利用実人数	人数
不登校	4
ひきこもり	4
家族・関係機関	55

利用者	回数
不登校	222
ひきこもり	234
家族・関係機関	125

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度は開催を中止しました。

■家族会・当事者の会支援

①家族会「みつばちの会」の支援

毎月第3水曜日19時から定例会を開催。参加者は毎月5名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏（教育文化研究所 代表）をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについて考えました。なお、令和3年2月～3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場参加でもリモート参加でも可能なハイブリッド運営を実施し、家庭の状況等で来所しての参加が難しかった会員の積極的な参加が見受けられました。

②当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

平成24年度からフリースペースを利用している当事者により、自分たちで支え合う団体（セルフヘルプグループ）として活動を行いたいとの声により、当事者の会 Switch が設立。メンバーでの交流活動等を行いました。今後は当事者間の交流等を進め、個々人の目標を見つめ直す機会にもしていきます。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市受託事業）

平成28年度にうきは市における子どもの孤立や貧困状況についての実態調査を基に策定された、「うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業実施計画」に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護・生活困窮世帯の子どもたち（平成30年度より小学生全学年対象）への学習機会の確保や生活習慣の定着などを、包括的に支援する居場所を提供すると共に、子ども達が生活する家庭や地域に対して、将来に向けた自立への支援や環境作りを行いました。

居場所では、学習習慣の定着のために宿題の実施を徹底すると共に、遊びを通じた精神的なより深い活動を行いました。特に自立に向けた取組としては、クラブ活動を実施。自主性を重んじ、各クラブ活動においてリーダーシップの育成や発表・発言する事の機会構築に努めました。この居場所で身に付けたスキルを家庭や学校で発揮できるように褒めて伸ばし、自己肯定感を高める支援環境を提供しました。

今後も子どもたちの支援環境をさらに整えると共に、保護者の相談も充分に聞き取りながら、良好な関係を築き、それぞれの世帯でのお困りごとなどを伺い、学校・家庭と社会資源を繋ぎ、子どもの支援から世帯の一体的な支援へと結び付けていきます。

### (1) 利用者実数

利用者	実人数
小学1年生	1名
小学2年生	3名
小学3年生	1名
小学4年生	5名
小学5年生	3名
小学6年生	2名
中学・高校生	2名
保護者	17名
合計	34名

### (2) 相談対応・連携件数

対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	168	139	189	162	146	136	196	163	144	146	142	153	1,884
保護者	74	65	116	98	94	81	118	92	90	74	74	66	1,042
支援関係者	17	21	5	20	17	7	15	16	13	20	11	23	185
合計	259	225	310	280	257	224	329	271	247	240	227	242	3,111

### (3) 支援関係者との連携

- うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク協議会 2回開催（令和2年6月18日、令和3年3月24日）
- うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク事業 実務者会議 1回開催（令和2年10月16日）

### (4) フードバンク支援

複数の市内事業所にご賛同いただき、市内在住の子どもたちを食の面から支援していく視点と、食品ロスの観点より、パン・ケーキ・焼き鳥・たこ焼き等の食品を不定期でご提供いただいています。提供いただいた食品は子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業だけではなく、生活困窮者自立支援事業における学習支援にも有効活用しています。

また、福岡市で活動しているNPO法人フードバンク福岡と同意書を交わし、長期保存可能な食料や清涼飲料水、お菓子などを不定期でご提供頂く事や、セブンイレブン・ジャパンから生活物品や食料品の提供を頂くなど、市内外問わず幅広いフードバンクのネットワークと連動し、市内支援活動に活かしています。

## 7. 高齢者等住まい・生活支援事業（市受託事業）

### (1) 住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」（吉井町1097番地1）を整備し、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。

平成27年度の事業開始からの住み替えに関する実相談者数は67件です。その他の相談としては、介護保険サービスの相談、自宅の老朽化等、相談が多岐にわたっています。また、住み替え相談から派生した、様々な生活課題の解決に向けて、関係機関と連携し対応しました。

また、相談支援の拠点につどいの場を併設しているため、ちょっとした心配ごとや介護ストレス、コロナ禍での生活や体調の不安を抱えての相談も増え、「まちの保健室」的な役割も大きくなってきています。

#### 【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談 (再掲)
電話相談	15	14	10	6	14	11	6	11	3	12	11	4	117	8
来所面談	6	6	10	8	11	13	17	16	13	14	13	12	139	7
訪問面談	1	2	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	7	0
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	22	22	20	14	25	24	23	28	17	26	25	17	263	15

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	0	2	3	0	0	2	2	1	1	9	2	0	22
住まいの斡旋・マッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援サービスの調整等	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	5
入居後居住支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	2	3	0	0	2	2	6	1	9	2	0	27

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】 ※ 1件の相談で2つの相談があれば2件でカウント

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	2	0	6
転宅費用等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修に関する相談	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	3
その他	22	19	17	14	24	21	20	22	16	14	21	17	227
合 計	22	20	17	14	25	22	21	22	16	17	23	17	236

※その他の主な相談

- ・心配ごとについて
- ・仕事について
- ・障がい者サービスについて
- ・移手段について
- ・物忘れについて
- ・押し車のレンタルについて
- ・コロナ禍での過ごし方
- ・小修理の依頼
- ・友達関係について
- ・自転車の運転について
- ・法事について
- ・かわはらさんちの利用について
- ・体調について
- ・介護について
- ・家族関係について
- ・携帯電話の使い方

(2) つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放しております。今年度は、新型コロナウイルスの影響により、行事開催を中止しましたが、感染防止対策を行った環境下で、利用者同士が声を掛けあい、DVDを活用した「うき8体操」の実施や、手芸を少人数で行う等、自主的な活動が生まれました。

【かわはらさんち利用状況】

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	11	6	35	30	41	42	48	56	47	23	56	78	473
65歳～74歳	2	1	0	1	0	0	0	5	1	0	1	0	11
15歳～64歳	3	3	8	1	2	7	6	2	0	1	1	6	40
15歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	16	10	43	32	43	49	54	63	48	24	58	84	524

(3) 居住支援協議会への参画

うきは市では住宅確保要配慮者（低所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に、居住支援協議会の設置が検討され、平成30年12月に設置されました。

今後、高齢者等が住み慣れた地域で最期まで暮らしていけるよう、住まいと生活支援に関わる課題を解決していくために、不動産事業所や関係機関とのネットワークを生かしながら、今後も連携体制を継続しながら住まいの支援を行ってまいります。

8. 資金貸付事業

低所得者、障がい者又は高齢者世帯等に対して、3種類の資金貸付制度の運用を行い、安定した生活が送れるよう支援しました。資金の貸付にあたっては、民生委員の協力を得るとともに、貸付調査委員会の意見・答申のもとに貸付を行いました。

【貸付調査委員会】

回数	期日	会場
第1回	R2.12.4	うきは市総合福祉センター
第2回	R2.12.18	うきは市総合福祉センター

【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	18件
教育費	8件
その他（問い合わせ）	16件
計	43件

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

生活福祉資金貸付事業は、低所得者、障がい者又は高齢者世帯に対し、資金の貸付けと必要な援助指導を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長を図り、安定した生活が送れるようにすることを目的とした福岡県社協が行う資金貸付制度で、その相談窓口として申し込みの受付等を行っています。

【貸付状況】

資金種類	令和2年度取扱い分	内令和2年度年度新規
総合支援資金	4件	0件
福祉資金	10件	1件
緊急小口資金	9件	1件
教育支援資金	71件	3件
合計	94件	5件

【貸付決定額】

資金種類	決定額
総合支援資金	0円
福祉資金	150,000円
緊急小口資金	80,000円
教育支援資金	1,650,000円
合計	1,880,000円

(2) 援護資金貸付事業

うきは市社協独自の貸付制度で、うきは市に居住される方が一時的に生活費などに困窮された場合に貸付を行いました。

【援護資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
令和2年度内貸付			140,000円	5件	140,000円	0円	0件
合計	0円	0件	140,000円	5件	140,000円	0円	0件

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、今年度は申し込みはありませんでした。

【育英奨学資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
貸付完了分（猶予分）	576,000円	1件	0円	576,000円	1件
25-27年度貸付完了分	2,127,600円	7件	753,600円	1,374,000円	7件
合計	2,703,600円	8件	753,600円	1,950,000円	8件

(4) 新型コロナウイルス特例貸付事業

令和2年3月10日に「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策 第2弾」により、生活福祉資金貸付制度における特例貸付が実施されることとなり、うきは市においても特例貸付の相談対応及び申込等の支援を実施しました。

【特例貸付申込件数】

区分	申込件数	貸付決定額
特例 緊急小口資金	37件	6,450,000円
特例 総合支援資金	61件	33,150,000円
特例 総合支援資金延長貸付	28件	12,300,000円
特例 総合支援資金再貸付	2件	1,200,000円
合計	128件	53,100,000円

【相談件数】

延相談件数	件数
	222件

※電話問い合わせのみ及び匿名での問い合わせも含む。

※件数に否決者も含む。

### Ⅲ 在宅福祉サービス事業部門

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う予防措置として、サービスの利用控えやサービス提供時間短縮などの影響により、年度上半期では利用者数や利用回数の減少がみられました。また、感染予防策を講じるために、消毒薬や非接触型体温計などの備品の購入による新たな支出を要しました。

訪問介護事業や通所介護事業に従事する介護職員不足については、ハローワークや市防災無線、ホームページを活用し募集をおこないましたが、十分な確保には至らず、デイサービスにおいては、送迎スタッフや事務職員を雇用するなどして業務の分担を行い、効率化を図りました。

#### 1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

今年度の年間延べ利用者数は、前年度と比較して要介護者の増減はありませんでした。今年度より介護支援専門員2名体制となり、要支援者については地域包括支援センターへ移行したため、要支援者△157名となり、介護報酬は6.7%の収入減となりました。

要介護者については、新規利用者25名に対して死亡6名、入院20名、施設入所者7名でした。入院後に11名が退院し、サービスを利用しながら在宅でお過ごしです。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発令がありましたので、その時期は自宅訪問を自粛し、電話などで利用者の様子を確認しました。職員はマスク着用や手指消毒等感染予防対策を徹底し、事業所とは電話などで情報共有を図りながら、利用者の支援を行いました。

元々、採算が取りにくい事業ではありますが、介護保険の要の事業であり、来年度も事業が継続できるよう病院や民生委員など、関係機関・団体への働きかけを強化し、利用者の確保を図っていきます。

営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

サービス提供時間：8：30～17：15（但し、24時間連絡可能な体制を確保）

職員体制：介護支援専門員 2名

#### (1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	73	71	73	71	69	67	72	73	68	65	69	72	843	70.3

#### (2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	3	2	3	2	3	3	3	2	2	5	7	7	42	3.5

#### 2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、検温、手指消毒、マスクやフェイスガードの着用、除菌シートの常備、簡易防護服等の整備等を行いました。

介護保険事業については、訪問介護事業、相当サービス事業、緩和型訪問サービスA事業を行い、制度の狭間ができないように取り組みました。しかし、訪問介護に従事する職員の安定確保が難しく、周辺の他事業所も事業撤退しているため、経営的にも厳しく、現体制では急なニーズの対応等もなかなか応じられないような状況です。

今後も利用者のニーズに柔軟に対応できるように、うきは市へ介護人材確保対の検討と支援を申し入れ、関係機関・団体への働きかけも強化しますが、訪問介護人材確保と安定したサービス提供体制の早急な見直しが必要です。

サービス内容については、利用者の心身状況や思いとサービスプラン内容が合致したものとなっているかを精査し、実情に合ったものとなるよう担当者会議等で提案しました。

営業日：年中無休（但し、12/31・1/1を除く）

営業時間：8：30～17：15

サービス提供時間：7：00～21：00

職員体制：ホームヘルパー8名（内、介護福祉士5名）(R3.3.31現在)

【新規利用者】

・介護保険事業：要介護者10名、相当サービス利用者8名、緩和型サービス利用者1名

・障害福祉サービス：居宅介護4名、移動支援2名、同行援護1名

## (1) 介護保険事業

### ①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

#### 【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	16	19	18	19	16	15	16	19	17	17	17	16	205	17.1
利用回数	155	158	156	149	121	129	158	146	151	135	136	139	1,733	144.4

### ②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

#### 【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	43	39	40	40	41	40	36	35	33	32	32	32	443	36.9
利用回数	272	253	262	248	259	256	261	233	225	209	216	229	2,923	243.6

### ③緩和型サービス事業：訪問型サービスA認定者へのヘルパー派遣

#### 【訪問型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	11	11	10	10	10	10	9	9	9	8	6	6	109	9.1
利用回数	49	44	43	41	38	43	38	33	37	29	24	26	445	37.1

## (2) 障害福祉サービス事業

### ①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

#### 【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	17	16	17	18	18	17	17	16	14	11	11	11	183	15.3
利用回数	135	143	149	171	157	160	167	144	138	115	119	134	1,732	144.3

### ②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

#### 【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	37	3.1
利用回数	19	24	25	20	22	15	26	24	24	18	18	17	252	21.0

## (3) 受託事業

### ①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

#### 【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	2	0	2	2	1	2	1	1	0	1	0	3	15	1.3
利用回数	2	0	4	3	1	4	1	1	0	1	0	9	26	2.2

### ②ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

今年度は利用実績なし

### ③受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

グループホーム「オリーブ」入居者の受診同行（身体介護）

今年度は利用実績なし

### 3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）

今年度はコロナ禍による福岡県の緊急事態宣言を受け、感染予防のための検温、手指消毒、マスク着用、利用者との間隔の確保などを徹底し対策に努めた。利用者・家族の不安を考慮し、利用希望に柔軟に対応する旨呼びかけを行いました。その結果、4/13から5/13の間は、通所介護で19.5%、介護予防で65.5%の利用控えがあり、7/18の市内他施設のクラスター発生に伴い7/22から8/13の間は介護予防で44%の利用控えがありました。

自宅待機者においては、筋力等の低下が顕著で、転倒や認知症、持病の悪化により入院や介護への移行となる方がおられ、デイサービスの重要性が再認識されました。また、入院された方のなかには回復難しく、そのまま利用終了になる方も多くみられました。

例年は地域との交流のため、ボランティアや地域の方々を積極的に受入れ・出し物等を依頼していましたが、本年度はリスク管理・不安軽減のため、交流行事であった運動会の代わりに文化祭を企画し、新館にて創作物等の展示をし、ワークサポート白鳥の家の踊りのみ披露していただきました。

今年度は当初計画していたとおり、老朽化に伴う空調機器の入れ替えや利用者にお過ごしいただくため、温泉タンク、温泉循環器等の交換、浴室内の防滑加工、電気照明LED化、壁面の補修等、環境整備を実施しました。

□営業日：介護予防通所介護、通所介護：月曜日～土曜日（但し、8/14.15、12/31～1/3を除く）

通所型サービスA：火・水・木曜日（但し、8/14.15、12/31～1/3を除く）

□豪雨のため通所事業中止日：7/7 時間短縮日：7/6、7/10

□大型台風最接近のため通所事業中止日：8/7

□大雪のため時間短縮日：1/8、1/9

□サービス提供時間：通所介護事業：9：15～16：30（時間延長あり）

相当サービス事業：9：30～16：00

緩和型サービス事業（通所型サービスA）：9：30～16：00

□1日の職員体制：職員7.8名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員）職員の兼務有

□調理：調理員1.25名、献立：栄養士1名（兼務職員）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

#### 【新規利用者】

・要介護者13名、相当サービス利用者15名、緩和型サービス利用者1名

#### (1) 通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、入浴介護等のサービスを実施し、要介護状態の進行防止に努めました。

##### 【通所介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	42	36	43	37	36	35	38	42	38	37	36	38	458	38.2
利用回数	409	419	455	404	367	360	418	423	361	319	342	417	4,694	391.2

※昨年度合計利用者：534名 月平均利用者：44.5名（延べ）

#### (2) 相当サービス事業

##### 【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	22	22	23	23	27	30	29	26	24	26	25	24	301	25.1
利用回数	100	116	145	136	153	196	196	168	173	151	155	178	1,867	155.6

※昨年度合計利用者：250名 月平均利用者：20.8名（延べ）

#### (3) 緩和型サービス事業（通所型サービスA）

##### 【通所型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	6	3	7	6	5	4	4	3	3	3	3	3	50	4.2
利用回数	10	8	25	19	21	17	11	12	15	12	12	15	174	14.5

※昨年度合計利用者：99名 月平均利用者：8.3名（延べ）



#### 4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

今年度は、4月に福岡県が緊急事態宣言の対象区域となったことに伴い、県や市の通知に沿い、利用者やご家族に在宅就労ができるかのご希望を取り、就労継続支援事業では18名中6名が4月13日～5月1日まで在宅就労で対応、就労移行支援については、月・火曜日に通所、水～金曜日に在宅就労という形での対応をしました。

在宅就労の実施については、市町村等に方法を問い合わせしましたが、申請方法、報告方法などがそれぞれ違い、実施方法のノウハウもない中で、事業所としても対応に苦慮しましたが、在宅就労を希望した利用者と面談をしながら、自宅待機中の過ごし方、在宅就労での目標を一緒に決め、毎日2回の電話での支援と週1回の在宅訪問を行いました。また、就労移行支援では送迎支援を行っていませんが、5月中と1月18日～2月5日までは、公共交通機関を利用している利用者について感染症対策として送迎対応を行いました。（日田市、田主丸町まで）

再度、令和3年1月16日から緊急事態宣言の対象区域となりましたが、4月の緊急事態宣言下での利用者様の様子等を踏まえ、在宅就労することによる身体的・精神的状況や生活リズムの悪化等の懸念から在宅就労は行わず、通常どおり通所での就労サービスの提供を実施しました。サービス提供にあたりましては、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者の皆さまが安心して利用できるよう対応しました。

国から出された「令和3年度障害福祉サービス等の報酬改定に係る基本的な考え方」にもあるように、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機として、障がいサービス等が利用者やその家族の生活を継続するうえで欠かせないものであり、感染症等が発生した場合でも、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されることが重要であることが再認識されています。今後も感染症対策を講じながら、必要なサービス提供の確保に取り組んでいきます。

- 開所日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）
- 開所時間：9時～16時
- 職員体制：管理者1名、サービス管理責任者2名
  - 生活支援員2名、職業指導員1名、就労支援員1名（就労移行支援事業）
  - 生活支援員1名、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名（就労継続支援事業B型）
  - 就労定着支援員1名（就労定着支援事業）

##### (1) 就労移行支援事業

就労移行支援事業では、コロナ禍の中、企業等での実習の受け入れや就職が厳しい状況となりました。しかし、一方で、コロナ禍でも白鳥の家を信頼していただき求人をだしていただく企業もありました。利用者ごとの就労する上での課題を明らかにし、就労に必要な知識や能力向上の訓練を行っていき、3月末現在、2名が4月からのトライアル雇用に向け頑張っている状況です。

- 定員：6名
- 主な訓練・活動（作業）内容：
  - ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
  - ・生産活動（下請け作業、名刺作成等）
  - ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援（実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練）
  - ・求職活動支援（ハローワークへの登録・求人検索）
  - ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

##### 【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	ピッキング作業（杉工場）/ 袋詰め作業（Kimmy）等
印刷作業	名刺印刷
自主製品	クラフトかご、入浴剤
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、スープ、パンの販売、接客等（12月チャレンジ月間）

##### 【職場実習実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習者数	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	2	5
実習日数	0	0	10	8	0	0	0	8	0	0	0	19	45

- 実習受入事業所：(株)ファーストダウン、(株)サンピット  
社会福祉法人うきは市社会福祉協議会（総合福祉センター）

【就労移行支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	4	4	4	4	5	4	4	5	4	3	3	4	48	4.0
利用回数	67	68	86	76	81	61	75	75	71	54	50	83	847	70.6

※昨年度利用者合計：45名 昨年度利用回数合計：783回（延べ）

(2) 就労継続支援事業B型

就労継続支援事業は、新作業棟完成に伴い5月より定員を15名から22名としました。4月の緊急事態宣言につき、5月末までパン製造自体を自粛。6月からパン製造を再開したものの、市内での感染状況を踏まえ、7月21日からパンのルート販売を自粛。9月より再開したものの、ベーカリーの売り上げは前年度比約30%減となりました。コロナ禍で飲食業は苦境に立たされていますが、スワンベーカリーにも影響が出る結果となりました。

また、緊急事態宣言中は、パン作り、下請け作業が少ない状況でありましたが、マスク不足の時期であったため、たくさんの布マスクの注文があり、仲間で分担しながら作業をしました。マスク等の自主製品の売り上げは前年度比35%増と好調でした。白鳥の家以外でも手作りマスクを出しているお店が多い中、「ここは安いですね」と買い求めに来られるお客様が多く、購入した方からも「マスクがない時期に作っていただきありがとうございます。助かります。」との声もいただき、利用者の就労意欲にもつながりました。また、下請け作業で作業自体が終了するものもできましたが、5月から新しい下請け作業として、ミニトマトのパック詰め作業をいただき、計量やシール貼りという新しい作業内容で仲間のレベルアップにもつながり、収入増にもつながりました。

□定員：22名（令和2年5月より15名より定員増）

□主な訓練・活動（作業）内容：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
  - ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り（マスク、刺し子・腕カバー）、クスの消臭剤
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め（JAにじ農産加工センター）、板材包装ビニール加工（堤木材）、ミニトマトの計量・パック詰め（アップルファーム）
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

□工賃実績：一人当たりの月額平均工賃 31,205円 ※県指定計算式による  
（令和元年度福岡県工賃平均額 14,215円）

【就労継続支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	18	17	17	19	19	17	18	17	17	17	15	15	206	17.2
利用回数	293	270	339	314	386	301	366	304	317	275	257	323	3,745	312.1

※昨年度利用者合計：211名 昨年度利用回数合計：3,581回（延べ）

(3) 就労定着支援事業

就労定着支援事業では、就職した利用者の職場定着を図るため、就職先を訪問し職場との連携を図りながら、職場内での課題を把握するとともに、対面支援の他にも電話等での支援等も取りいれました。

□定員：15名

□主な支援内容：

- ・職場訪問による就労態度・職場状況の確認
- ・職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
- ・生活安定のための家庭訪問および助言

- ・本人および職場からの相談対応
- ・利用者間の交流を図るための取り組み（交流活動等）
- ・職場休業日の居場所支援（白鳥の家での受け入れ）

#### 【就労定着支援事業】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	7	8	8	8	8	8	7	7	6	6	6	6	85	7.1
利用回数	7	8	8	8	8	8	7	7	6	6	6	6	85	7.1

※昨年度利用者合計：95名 昨年度利用回数合計：95回（延べ）

#### （４）ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	行事内容	期 日	行事内容
R2.4.13～5.1	緊急事態宣言を受け B型：希望者在宅就労（6名） 就労移行：（月・火）通所・送迎対応 （水～金）在宅就労	R2.10.30	まごころ製品販売注文品納品
		R2.11.11	デイサービス文化祭踊り披露
		R2.11.20	施設外活動（國武庵）
		R2.11.29	休日ショップ 営業
R2.5.7	短縮利用（～13：30）	R2.11.30	大石あいの会マスク注文品
R2.5.12	トマトパック詰め内職開始	R2.12.1～12.24	就労移行：あひるの子チャレンジ月間
R2.5.18	短縮利用（～14：30）	R2.12.5	雑貨市（福祉バザー）JAにじ耳納の里
R2.5.28	入浴支援（男性のみ）	R2.12.10	卒業生のつどい 「図書館の使い方について」 講師：うきは市立図書館長
R2.6.1	通常利用再開		
R2.6.15	収支報告会（資料配布のみ）	R2.12.14	収支報告会 於：図書館3階
R2.6.19	昼食会（カレーライス）	R2.12.16	道の駅うきはかかしコンクール表彰式
R2.6.23	ゴキブリ団子づくり	R2.12.17	卒業生のつどい 「障害者手帳・受給者証・障害者雇用・感 染症について」 講師：うきは市福祉事務所 権藤氏
R2.6.29	仲間健診		
R2.7.1	パン販売再開	R2.12.21	仲間健診
R2.7.6	大雨にて13時に閉所	R2.12.24	B型：デイサービスクリスマス踊り披露
R2.7.7	大雨にて休所	R2.12.25	クリスマス会
R2.7.10	大雨にて13時に閉所	R2.12.28	大掃除
R2.7.20	新型コロナウイルス感染拡大防止のため ・スワンベーカーリー店内飲食中止 ・あひるの子休業 ・パン販売自粛	R3.1.4	仕事始め・初詣（三社参り）・新年会
		R2.7.29	すいか割り
R2.8.11	大掃除	R3.1.6	ホークスメセナギフト（みずほ信託銀 行様より）・マスクケース（日本精工 九州（株）様より）仲間へ配布
R2.8.12	B型：会食（お弁当） 施設外活動（調音の滝見学） 就労移行：調理実習（カレーライス）	R3.1.8	大雪のため休所
		R3.1.19～2.5	緊急事態宣言を受け ・作業時間短縮（～14：00） ・就労移行を含め送迎対応（～2/5） ・スワンベーカーリー・あひるの子店 内飲食中止 ・作業時間は通常通りにて受入
R2.8.13～8.14	お盆のため休所		
R2.9.1	スワンベーカーリー店内飲食・パン販売開始		
R2.9.2	あひるの子再開		
R2.9.7	台風接近のため休所	R3.2.7～2.26	緊急事態宣言延長
R2.9.24	避難訓練（自主訓練）	R3.3.3	今川通り老人会330枚マスク納品 緊急事態宣言解除のため ・スワンベーカーリー・あひるの子通常営業再開
R2.10.7	赤い羽根共同募金街頭募金 （Aコープうきは）		
R2.10.15	道の駅うきはかかしコンクール応募・搬入	R3.3.13	福祉バザー 於：道の駅うきは
R2.10.16	就労移行：道の駅かかしコンクール見学	R3.3.26	避難訓練（自主訓練）・消火訓練
R2.10.23	B型：道の駅かかしコンクール見学	R3.3.28	休日ショップ 営業
R2.10.25	休日ショップ 営業		

※今年度はコロナ禍にて一泊研修等の行事を中止しました。また、道の駅でのまごころ製品販売会や地域の福祉大会等での販売会等も中止となりました。

## (6) 主な新型コロナウイルス感染症対策の実施内容

- ・朝の自宅での検温、昼食後の施設内での検温を実施しました。
- ・送迎中は、常時喚起を行いながら、密にならないよう乗車人数を調整しました。また、乗車後は手すり等の消毒を実施しました。
- ・作業中は基本マスクを着用し、喚起を行いながら実施。緊急事態宣言の期間は、パン販売等、不特定多数と接する場面は、職員対応としました。
- ・昼食は3～4交代制で行い、横並びで食事をして飛沫が飛ばないように注意しました。
- ・白鳥の家への来訪の制限は行いませんでしたが、入り口での来客名簿の記入、体温測定、消毒などを徹底しました。
- ・利用者が触る手すりや取っ手、机、いす等の消毒を実施。スワンショップやベーカリー、あひるの子には消毒液やアクリルパネルの設置を行い、お客様が触るカゴやトレーなどの消毒を徹底しました。
- ・ボランティアの皆さまにお願いしていたアルミ回収作業も、緊急事態宣言の期間は職員対応としました。
- ・利用者には終礼等で三密を避けるなど感染症対策を伝えていき、ご家族には文書にて協力をお願いしました。

## 5. 制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

### (1) 暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業において対象サービスとならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1回当たり

時間	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
身体介護	1,000円	2,000円	3,000円	1,000円
生活援助	800円	1,600円	2,400円	800円

【利用実績】 ※実利用者数4名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	1	2	2	1	1	2	1	1	1	1	2	1	16	1.3
利用回数	5	5	5	4	4	5	5	4	3	4	6	4	54	4.5

## 6. 家族介護者交流事業（市受託事業）

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

### ①在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成（助成金：27,215円）

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業のほとんどが中止となりました。

実施日	内 容	参加者
R2.6.10	会計監査 会場 / うきは市民センター 2階 会議室	5名
R2.6.18	役員会 会場 / うきは市総合福祉センター 2階 和室	8名
R2.10.2	役員会 会場 / うきは市総合福祉センター 2階 和室	7名
R2.10.27	定例会（リフレッシュ：森林セラピー） 会場 / 浮羽町妹川地区	17名
R2.12.18	定例会（研修：介護料理教室） 会場 / 御幸コミュニティセンター調理室	14名
	合 計	51名

②うきは市在宅介護者のつどい

うきは市内で在宅介護をされている方が、一日介護から少し離れリフレッシュできる機会として日帰り旅行を令和3年2月に実施予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

## 7. 連携・協働事業

### (1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、介護情報の収集、職員の資質向上に努めています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、すべての事業を中止しました。

### (2) 障害者就業・生活支援センターとの連携

障害者就労移行支援事業および就労定着支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」や障害者就業・生活支援センター「ちくぜん」との連携により、就職希望等についての相談に応じました。また、就労定着支援事業契約者については、本会が直接支援し、未契約や契約対象者期間を過ぎたケースについては、分担して継続的に支援を行いました。

### (3) 地域障害者協議会就労支援部会等への参加

地域障害者協議会就労支援部会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上や事業所の支援向上に努めました。

期 日	内 容
R2.5.27	うきは市地域障害者協議会 第1回就労支援部会 ・今年度の活動について ・新型コロナウイルスによる各事業所の現状について
R2.9.4	うきは市地域障害者協議会 第2回就労支援部会「就労支援勉強会」 ・事例検討 講師／福岡県筑後地域発達障がい者支援センターあおぞら
R2.11.13	うきは市地域障害者協議会 第3回就労支援部会「就労準備講座」 ・障害者雇用について 講師／ヤマト運輸（株）

## IV その他

### 1. 実習・見学受入状況等

#### (1) 視察受入（総務企画課、地域福祉課）

期 日	団体・組織	人数	内 容
R2.7.9	朝倉市社会福祉協議会	4	うきは市の生活困窮者自立支援事業について
R2.7.21	福岡県ひきこもり地域支援センター	5	うきは市の不登校・ひきこもり支援について
R2.11.12	中間市社会福祉協議会	3	うきは市の生活困窮者自立支援事業について
R2.12.16	長崎県波佐見町	リモート	おおいし絆クラブ・14区おたすけ隊の活動等について
R2.12.18	国際長寿センター	リモート	うきは市と移動販売事業者との協働について（取材）
R3.1.6	国際長寿センター	2	うきは市と移動販売事業者との協働について（取材）
R3.3.26	久留米市城島町浮島校区	15	江南一九の会の活動について・うきは市の移動支援について
合計 7 団体 29 名			

#### (2) 社会福祉士相談援助実習（地域福祉課）

※今年度は社会福祉士相談援助実習受入はありませんでした。

#### (3) 訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

※今年度はヘルパー実習受入はありませんでした。

#### (4) 通所介護事業（うきは市デイサービスセンター）

※今年度は介護職員の実習受入はありませんでした。

#### (5) 障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）

##### ①実習・見学受け入れ

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
小郡特別支援学校高等部	4	日田支援学校	2	小郡特別支援学校中等部	1
希望が丘	2	団体数：4 団体 来訪者数：9 名			

### 2. 講演、事例報告への職員派遣（総務企画課、地域福祉課）

期 日	内 容	派遣職員
R2.9.25	福岡県生活支援コーディネーター 初任者研修	総務企画課 中川
R3.1.22	福岡県ひきこもり支援者地域ネットワーク会議	地域福祉課 権藤
R3.1.28	佐賀県生活支援コーディネーターフォローアップ研修 ※リモート	総務企画課 中川
R3.3.3	福岡県生活困窮者自立支援制度人材育成研修（後期）	地域福祉課 権藤
R3.3.6	生活支援コーディネーター地域サミット in Okinawa ※リモート	総務企画課 中川
R3.3.22	さわやか福祉財団ブロック全国協働戦略会議 ※リモート	総務企画課 中川

## V 令和2年度 寄付概要

### 1. 香典返し寄付

香典返し寄付金 合計	276件	7,282,000円
------------	------	------------

### 2. 一般寄付

一般寄付金 合計	38件	計 830,490円
----------	-----	------------

## 令和2年度 事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

令和2年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第40条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上